

# 令和4年度 第1回 岩手県企業局経営評価委員会

令和4年7月28日（木） 13:30～15:00

エスポワールいわて3階特別ホール

## 次 第

### 1 開 会

### 2 あいさつ（森企業局長）

### 3 議 事

#### 【報告事項】

(1) 令和3年度 決算概要について

#### 【審議事項】

(2) 令和3年度の経営評価（実績）について

(3) 令和4年度 第1四半期の取組状況について

(4) その他

### 4 閉 会

#### 配付資料

- 資料1-1 令和3年度 評価の総括（実績）
- 資料1-2 令和3年度 経営評価総括表（実績）
- 資料2-1 令和4年度 取組状況の総括（第1四半期）
- 資料2-2 令和4年度 経営評価総括表（第1四半期）
- 参考資料1 令和3年度 決算概要
- 参考資料2 令和3年度 取組内容一覧表
- 参考資料3 令和4年度 取組内容一覧表

令和4年度 第1回 岩手県企業局経営評価委員会 出席者名簿

委員長	一関工業高等専門学校 副校長	あかし なおゆき 明石 尚之
委員	岩手県立大学総合政策学部 准教授	いずみ けいこ 泉 桂子
〃	いわて生活協同組合 常務理事	かねこ せいこ 金子 成子
〃	早稲田大学水循環システム研究所招聘研究員 株式会社群馬東部水道サービス代表取締役	なみかわ すずむ 濤川 進
〃	盛岡ガス株式会社 常務取締役総務部長	まつかわ けん 松川 顕
企業局	局長	もり たつや 森 達也
〃	次長兼経営総務室長	ささき しんいち 佐々木 真一
〃	技師長	ふじわら きよと 藤原 清人
〃 (経営総務室)	管理課長	ちば じゅんこう 千葉 順幸
〃	予算経理担当課長	きくち のりふみ 菊地 教文
〃 (業務課)	総括課長	やまや のりひこ 山谷 紀彦
〃	事業担当課長	こがわ けんいち 古川 健一
〃	電気課長	たかはし ひろし 高橋 浩
〃	土木・施設担当課長	たや せいこ 田家 清子
〃 (施設総合管理所)	施設総合管理所長	むらかみ としひろ 村上 敏弘
〃 (県南施設管理所)	県南施設管理所長	むろつき あつし 室月 敦
事務局	経営総務室 経営企画課長	いとう たかゆき 伊藤 隆行
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	おぼら じょう 小原 穰
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	まつもと じゅん 松本 潤
〃	経営総務室 経営企画担当 主任	なかむら けいすけ 中村 圭佑
〃	経営総務室 経営企画担当 主事	かつら まさゆき 桂 誠之
〃	経営総務室 管理担当 特命課長	ほそかわ ひろもと 細川 普基

(委員 50 音順 敬称略)

出席者数 22 名

令和4年度 第1回 岩手県企業局経営評価委員会 タイムスケジュール

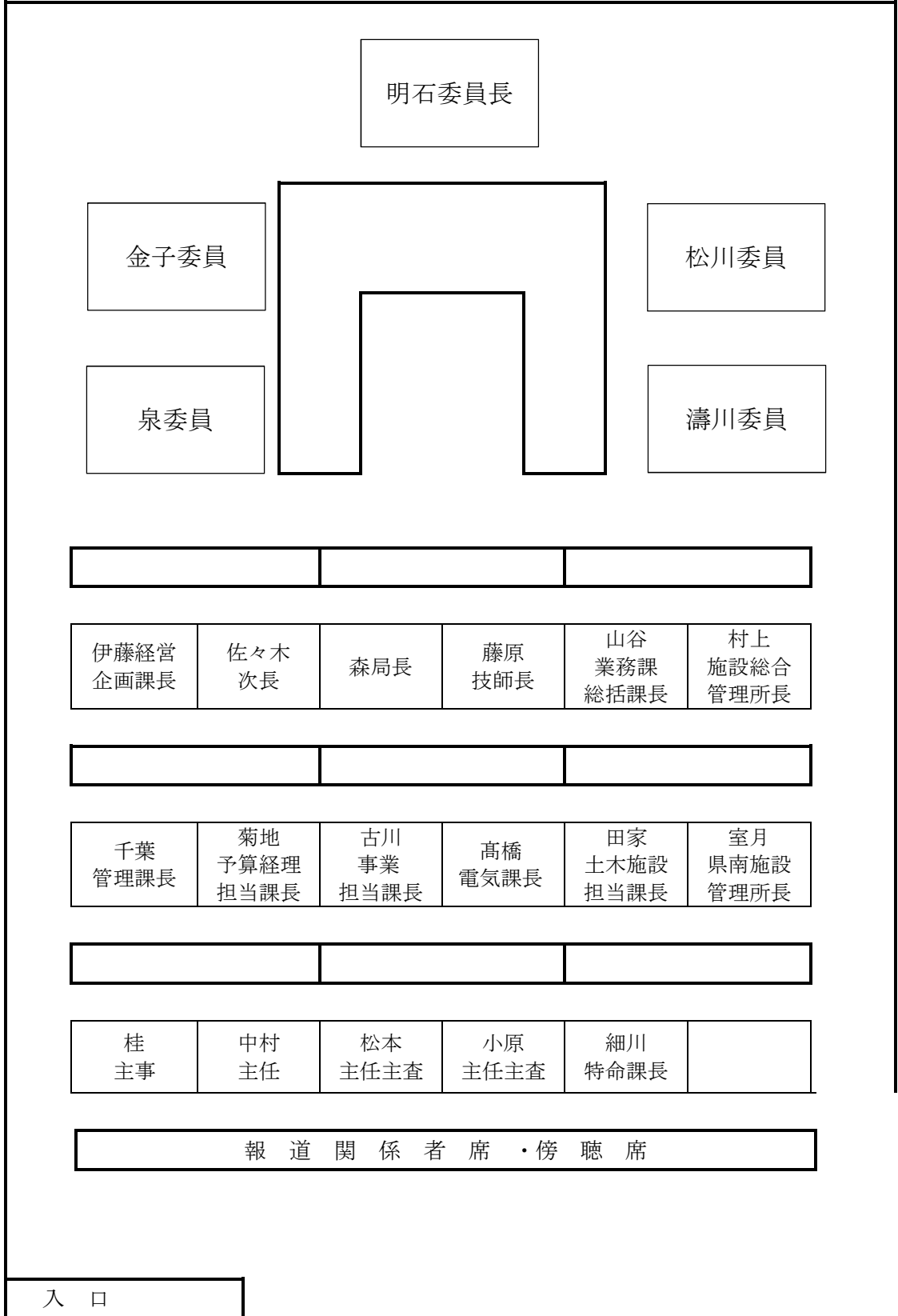
令和4年7月28日(木) 13:30 ~ 15:00

内 容	予定時間	備考
1 開 会 2 挨 拶	13:30 ~ 13:40	
3 議 事 【報告事項】 (1) 令和3年度 決算概要について	13:40 ~ 13:50	参考資料1
【審議事項】 (2) 令和3年度の経営評価(実績)について	13:50 ~ 14:15	資料1-1 ~ 資料1-2
(休憩)	14:15 ~ 14:25	
(3) 令和4年度 第1四半期の取組状況について	14:25 ~ 14:50	資料2-1 ~ 資料2-2
(4) その他	14:50 ~ 14:55	
4 閉 会	14:55 ~ 15:00	

令和4年度 第1回 岩手県企業局経営評価委員会 座席表

令和4年7月28日(木) 13:30 ~ 15:00

エスポワールいわて(岩手県盛岡市大通1丁目1-38) 3階特別ホール



明石委員長

金子委員

松川委員

泉委員

濤川委員

伊藤経営  
企画課長

佐々木  
次長

森局長

藤原  
技師長

山谷  
業務課  
総括課長

村上  
施設総合  
管理所長

千葉  
管理課長

菊地  
予算経理  
担当課長

古川  
事業  
担当課長

高橋  
電気課長

田家  
土木施設  
担当課長

室月  
県南施設  
管理所長

桂  
主事

中村  
主任

松本  
主任主査

小原  
主任主査

細川  
特命課長

報道関係者席・傍聴席

入口

## 令和3年度 評価の総括(実績)

### 1 電気事業

「**運転年数100年**」を実現するための基盤づくりについては、融雪期の出水が好調であったことなどから**供給電力量及び経常収支比率の経営目標を達成**しました。

再生可能エネルギーの維持拡大については、計画どおり、令和3年7月に**築川発電所の営業運転を開始**しましたが、運転開始後の**出水率が低調**であったことなどから、**新規開発・再開発による供給電力量の経営目標は未達**となりました。なお、**稲庭高原風力発電所再開発事業**については、一部部品の納入が遅れたことから、当初計画から4か月遅れ、**令和4年7月1日に営業運転を開始**しました。

令和3年12月に非FIT水力発電所の**令和4年度から令和5年度までの電力供給契約を締結し、適正な収入を確保できる見通し**となりました。

指標一覧(実績)

(1) 「運転年数100年」を実現するための基盤づくり		R3目標値	実績	達成度
経営目標	供給電力量(百万 kWh)	536	<u>563</u>	A
	発電所建屋等の耐震化率(%)	100	95	B
	電力土木施設の耐震診断進捗率(%)	86	86	A
取組内容	成果状況：11項目中 a 8項目(73%) b 3項目(27%) c なし			
(2) 再生可能エネルギーの維持拡大		R3目標値	実績	達成度
経営目標	新規開発・再開発による供給電力量(千 kWh)	7,757	<u>5,655</u>	<u>C</u>
取組内容	成果状況：6項目中 a 3項目(50%) b 3項目(50%) c なし			
(3) 経営環境の変化に対応した安定経営		R3目標値	実績	達成度
経営目標	経常収支比率(%)	124	<u>132</u>	A
取組内容	成果状況：6項目中 a 6項目(100%) b なし c なし			

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上100%未満、C：60%以上80%未満、D：60%未満

注) 成果状況 a：目標とした成果を達成した b：(複数の取組目標を設定している場合)a判定のものとc判定のものが両方ある場合

c：目標とした成果を達成できなかった

### 【主な成果等】

#### (1) 「運転年数100年」を実現するための基盤づくり

安定供給の目安となる供給電力量の目標達成に向けて、計画的な施設の修繕・改良に取り組んでおり、予定していた取組は**概ね計画どおり進めました**。

故障対応等の迅速化や巡視点検の効率化を図るため、自走式巡視ロボットなど**IoT機器の実証試験**に取り組みました。

**発電所建屋等の耐震化**については、今年度予定していた2つの発電所のうち、**御所発電所の工事が完成**しました。また、仙人発電所については入札不調となったため再公告を行い、**令和4年2月に工事契約を締結**しました。

新型コロナウイルス感染症感染拡大への対応として、運転当直員が感染した場合でも**電気の安定供給を確保**できるよう、**集中監視制御システム**(24時間運転監視)の操作室を別建屋に**増設**しました。

## (2) 再生可能エネルギーの維持拡大

築川発電所については、計画どおり、建屋工事及び水車発電機等据付工事が完成し、**7月1日に営業運転を開始**しました。

稲庭高原風力発電所再開発事業については、11月に既設風車の撤去を完了し、12月に新風車の組立を行いました。世界的な**新型コロナウイルス感染症感染拡大及び半導体不足**の影響により一部部品の納入が遅れたことから、当初計画から4か月遅れ、**令和4年7月1日に営業運転を開始**しました。

胆沢第二・入畑発電所再開発事業については、**令和4年3月に固定価格買取制度の認定**を取得しました。

## (3) 経営環境の変化に対応した安定経営

適正な収入の確保に向け、電力自給率の向上、安定経営、地域貢献を基本方針とした**公募型プロポーザルを実施**し、12月に令和4年度から令和5年度までの**電力供給契約を締結**しました。

また、**令和7年度向けの容量市場に応札し、全ての容量が約定**しました。

## 【主な課題と今後の対応】

世界的な半導体不足による影響について、引き続きメーカー等に情報収集しながら工事の実施時期について検討を進めていきます。

## 2 工業用水道事業

北上ろ過施設において漏水事故による供給停止が発生したため、供給停止件数の経営目標は未達となりましたが、ユーザー企業の契約水量の増量等により増益となったことなどから、経常収支比率の経営目標は達成しました。

新北上浄水場及び取水口の建設事業などは、概ね計画どおり進捗しました。

指標一覧（実績）

(1) 良質な工業用水の安定供給		R3目標値	実績	達成度
経営目標	供給停止件数(件/年)	0	1	D
取組内容	成果状況：10項目中 a 8項目(80%) b 1項目(10%) c 1項目(10%)			

(2) 新たな水需要への対応					
取組内容	成果状況：1項目中	a なし	b 1項目(100%)	c なし	※経営目標・参考指標設定なし

(3) 安定的な事業運営		R3目標値	実績	達成度
経営目標	経常収支比率(%)	107	112	A
取組内容	成果状況：5項目中 a 5項目(100%) b なし c なし			

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上100%未満、C：60%以上80%未満、D：60%未満

※供給停止件数については、目標値を達成した場合はA、達成しなかった場合はD

注) 成果状況 a：目標とした成果を達成した b：(複数の取組目標を設定している場合)a判定のもとc判定のものが両方ある場合

c：目標とした成果を達成できなかった

### 【主な成果等】

#### (1) 良質な工業用水の安定供給

新型コロナウイルス感染症防止対策に努めたほか、職員が罹患した場合の管理体制を予め整理するなど、安定供給に努めました。

北上ろ過施設の漏水事故の本復旧工事については、塗料メーカーの不適切行為によるダクタイル鋳鉄管メーカーの出荷自粛の影響を受けたことから、完成は令和4年5月末となりました。

#### (2) 新たな水需要への対応

新北上浄水場及び取水口の建設事業などは、概ね計画どおり進めました。

#### (3) 安定的な事業運営

ユーザー企業の水需要の動向を踏まえ、金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジングによる経費の縮減に向けて、設計を進めました。

契約水量の維持・増量に向けた取組として、ユーザー訪問による使用水量の動向などについての情報交換や今後の需要量の調査を行いました。

### 【主な課題と今後の対応】

新たな水需要への対応について、令和5年4月からの一部給水開始に向けて、北上市や受水企業などとの調整を行いながら、新北上浄水場等の整備を進めていきます。

新型コロナウイルス感染症の影響など、ユーザー企業の実使用水量の動向に注視していきます。

### 3 組織力向上と地域貢献

新規資格取得者数の経営目標を達成しました。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、一部の植樹活動が中止となったことなどから、**温室効果ガス削減量の経営目標は未達**となりました。

指標一覧（実績）

(1) 組織力向上		R3目標値	実績	達成度
経営目標 ※計画期間(R2～R5)累計	第二種電気主任技術者 新規資格取得者数(人)	3	5	A
	第一種ダム水路主任技術者 新規資格取得者数(人)	1	1	A
取組内容	成果状況：11項目中 a 10項目(91%) b 1項目(9%) c なし			
(2) 地域貢献		R3目標値	実績	達成度
経営目標	地域貢献事業による温室効果ガス削減量 (t以上/年)	120以上	114	B
取組内容	成果状況：6項目中 a 6項目(100%) b なし c なし			

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上100%未満、C：60%以上80%未満、D：60%未満

注) 成果状況 a：目標とした成果を達成した b：(複数の取組目標を設定している場合)a判定のものとc判定のものが両方ある場合

c：目標とした成果を達成できなかった

#### 【主な成果等】

##### (1) 組織力の向上

第二種電気主任技術者は2名、第一種ダム水路主任技術者は1名取得しました。

働き方改革に計画的に取り組むため、「**企業局働き方改革ロードマップ**」を策定しました。また、並行して、ノート型パソコンの導入や押印の見直しなどテレワークに向けた環境整備を行ったほか、フレックスタイム制度を導入するなど、ワーク・ライフ・バランスの確保や働きやすい職場環境の実現に向けた取り組みを行いました。

企業局施設カードの配布及び施設見学者の受入れについては、令和2年12月より休止していましたが、国内における新型コロナウイルス感染症感染拡大状況が減少傾向にあることを踏まえ、令和4年1月から**全面的に再開**しました。

##### (2) 地域貢献

企業局の水力発電所で発電した**CO<sub>2</sub>フリーの電力を利用する企業等が昨年度27件から今年度52件に大きく増加**しました。**温室効果ガスの削減**に向け、**9件のクリーンエネルギー導入事業、13件の植樹活動事業を支援**しました。

#### 【主な課題と今後の対応】

いわて復興パワーによる電気料金の割引やCO<sub>2</sub>フリーの電力を供給する取組については、令和4年度から令和5年度までの電力供給契約の相手方と協議・調整を行い、**取組の拡大に向けた検討**を行います。

植樹活動支援事業については、**令和5年度の全国植樹祭**に向け**農林水産部と連携**するなど、引き続き、取組を進めていきます。



1 電気事業 ※下線部は令和3年度第3回経営評価委員会(2/8)からの変更箇所  
 (取組の方向性) (1)「運転年数100年」を実現するための基盤づくり

経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
供給電力量(百万 kWh)	計画	219	115	333	72	130	536	A
	実績	235	120	355	92	<u>116</u>	<u>563</u>	
	達成率	108%	104%	106%	127%	<u>90%</u>	<u>105%</u>	
発電所建屋等の耐震化率(%)	計画	90	90	90	90	100	100	B
	実績	90	90	90	90	95	95	
電力土木施設の耐震診断進捗率(%)	計画	73	73	73	73	86	86	A
	実績	73	73	73	73	86	86	

参考指標 (H22-30 平均)	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考] 水力発電所の供給停止件数(件/年)	3	1	2	3	1	0	4
[参考] 〃 の供給停止時間(時間/年)	68	2	4	5	846	0	851
[参考] 〃 の供給停止電力量(百万 kWh/年)	0.055	0.005	0.038	0.042	0.338	0	0.380

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満

【特記事項】

- 供給電力量については、令和3年度の水力、風力、太陽光合計の供給電力量は 563 百万 kWh、達成率は 105% と計画値を上回りました。
  - 水力発電については、出水率が低調な時期がありましたが、出水量が多かった前年度2・3月分の貯水を4月以降に発電で利用できたことなどにより、供給電力量の達成率は 105% と計画値を上回りました。
  - 風力発電については、年間を通じて風況が安定していたことから、供給電力量の達成率は 108% と計画値を上回りました。
  - 太陽光発電については、平年並みの日射量であったことや、経年劣化による発電効率の低下が想定よりも少なかったことから、供給電力量の達成率は 112% と計画値を上回りました。
  - 水力発電所の供給停止については、北ノ又第二発電所、築川発電所、仙人発電所及び入畑発電所の計4件発生しました。
- 発電所建屋等の耐震化については、御所及び仙人発電所建屋の耐震化を進め、御所発電所の現地施工が2月に完成。  
 仙人発電所については、入札不調等により耐震化を延期したため、今年度の耐震化率が95%にとどまりました。
- 電力土木施設の耐震診断については、岩洞第一発電所の委託契約を締結し、計画どおり診断業務を進め、進捗率は 86% となりました。

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 年度別事業実施計画に基づく修繕・改良等の実施	/	b	③	ア 新技術の導入	/	a
	イ 電力土木施設等長寿命化対策	/	a		イ 発電所遠方監視制御装置のIP化	/	a
	ウ 耐震化計画の推進	/	b		④	ア 農業用水の安定供給に向けた機能維持	/
②	ア 適切な保守作業の実施	/	a	イ 河川管理者等との連携		/	a
	イ 風水害に備えた点検の重点化	/	a	ウ 発電所共同運転事業者との連携		/	a
	ウ マニュアル等の見直し	/	a				

注) 成果状況 a: 目標とした成果を達成した b: (複数の取組目標を設定している場合)a判定のもの c判定のものが両方ある場合  
 c: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

- 1) 電力土木施設の長寿命化対策に関する検討会議を4回開催し、**電力土木施設の点検周期、耐震化スケジュール等について協議**しました。
- 2) **松川発電所水車発電機分解点検補修等工事**について、世界的な半導体の供給不足の影響により、**令和6年度の完成予定に計画を見直**しました。
- 3) **仙人発電所建屋等の耐震化**については、入札不調となったため再公告を行い、**令和4年2月に工事契約を締結**しました。
- 4) **施設総合管理所大物倉庫等建替工事**について、建築確認審査に時間を要したことにより、工事発注手続きが遅れましたが、**令和4年3月に工事契約を締結**しました。
- 5) **県南施設管理所増築工事**について、今年度の完成を予定していましたが、地盤改良にかかる工法の変更が必要となったため、**令和4年度の完成予定に計画を見直**しました。

② 適切な保守管理

- 1) 年間スケジュールに基づき工事等に伴う**河川法手続き及び協議を実施**しました。
- 2) 計画的な保守作業の実施に向け、巡視点検及び定期点検における**トラブル事例についての課内研修を実施**するなど安全な点検作業の実施について理解を深めました。

③ 新技術の導入

- 1) **IoT・AI技術の活用**については、柏台発電所、岩洞第一発電所及び四十四田発電所において、既存の集中監視制御システムでは遠隔監視していない信号の取得、アナログメータのデジタルデータ化、水車振動等の異音検知、自走式巡視ロボットなど**IoT機器の実証試験を実施**しました。また、技術担当課長会議の特定課題検討グループにおいて、故障対応の迅速化や巡視点検効率化といった実証の効果について確認を行ったほか、水車等の異常を早期検知する方法について情報収集を行いました。
- 2) 築川発電所の営業運転開始とともに、**IP<sup>\*</sup>回線を活用した遠方監視制御システムの運用を開始**しました。

※ インターネットプロトコル（通信ルール）を利用した通信で発電所の遠方監視を行うもの。

従来は専用通信線による専用プロトコルが用いられてきたが、多様な情報を効率的に伝送可能なIPが採用されてきている。

④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携

- 1) **岩洞ダム共有施設の改良工事**（国営岩手山麓農業水利事業）について、岩手山麓農業水利事業所と施工時期等について協議を行いながら工事を進め、**今年度予定していた工事は計画どおり完成**しました。
- 2) **胆沢第二発電所の農業用水に係る共有施設の改修**について、共同事業者である東北農政局及び県農林水産部と協議（5/13）し、今後の進め方について確認しました。また、**改修工事に係る設計業務委託について検討**を進め、改修工事にかかる計画をまとめました。
- 3) **胆沢第二発電所の若柳堰堤ゲート自動制御更新工事**について、世界的な新型コロナウイルス感染症感染拡大及び半導体不足の影響により操作卓の製作に遅れが生じましたが、**現地工事の予定に変更はなく、計画どおり令和4年度に完成となる見込み**です。

主な課題と今後の対応

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

- 1) 施設の計画的な修繕・改良の実施に向け、引き続き、工事、委託等の発注管理、進捗管理を行っていきます。
- 2) 松川発電所水車発電機分解点検補修等工事について、令和6年度の完成を目指し、工事の発注手続きを進めます。
- 3) 仙人発電所建屋等耐震化工事について、令和4年度の完成を目指し、工事を進めます。
- 4) 施設総合管理所大物倉庫等建替工事について、令和4年度の完成を目指し、工事を進めます。
- 5) 県南施設管理所増築工事について、令和4年度の完成を目指し、工事を進めます。

② 適切な保守管理

- 1) 河川法手続きについて、工事等のスケジュールに合わせて、適宜手続きを進めます。
- 2) 電力の安定供給のため、引き続き、各発電所におけるリスク等の情報共有などに取り組み、巡視点検や定期点検等に活かしていきます。

③ 新技術導入

- 1) 電力の安定供給を目的として、引き続き、保守の効率化に関するIoT機器の実証試験をメーカーの協力により実施し、新技術導入に向けた取組みを進めていきます。

④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携

- 1) 岩洞ダム共有施設の改良工事については、引き続き、東北農政局と、工事の進捗状況等について協議・調整を行い、令和8年度の事業完了を目指します。
- 2) 胆沢第二発電所の農業用水に係る共有設備の改修工事については、設計業務委託成果に基に実施スケジュールをとりまとめ、胆沢平野土地改良区と協議を進めます。
- 3) 胆沢第二発電所の若柳堰堤ゲート自動制御更新工事については、引き続き操作卓の製作を進め、令和4年10月の現地据付工事着手を目指します。

- ・ 供給電力量電源別内訳、気象データ、供給停止件数の過去平均と原因別比較
  - ・ 発電所建屋等の耐震化工事箇所数、電力土木施設の耐震診断箇所数
  - ・ 電力料収入、収入、支出の状況
- 上記については補足説明資料のとおり

令和3年度 経営評価総括表 [実績]

1 電気事業

(取組の方向性) (2)再生可能エネルギーの維持拡大

経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	3/4	4/4	年間	達成度
新規開発・再開発による供給電力量 (千 kWh)	計画	0	2,956	2,495	2,306	7,757	C
	実績	0	1,850	2,304	1,502	5,655	

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上 100%未満、C：60%以上 80%未満、D：60%未満

【特記事項】

- 新規開発については、**7月1日に築川発電所が営業運転を開始**しました。  
供給電力量については、営業運転開始後の出水率が低調であったことや、ダムの点検作業等により発電停止したことなどから、**計画値を下回りました**。
- 再開発については、稲庭高原風力発電所の営業運転開始に向け、既設風車の撤去及び新風車の組立を進めました。

取組内容の進捗状況

取組内容	進捗	成果	取組内容	進捗	成果
① ア 築川発電所の建設	/	a	② ア 胆沢第二発電所の再開発(令和2～8年度) イ 入畑発電所の再開発(令和2～7年度) ウ 稲庭高原風力発電所(令和2～3年度) エ 再開発の検討	/	b
イ 新規開発に向けた調査等	/	a		/	b
				/	b
				/	a

注) 成果状況 a：目標とした成果を達成した b：(複数の取組目標を設定している場合)a判定のものとc判定のものが両方ある場合

c：目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 新規開発の推進

- 築川発電所の建設については、建屋工事及び水車発電機等据付工事が完成し、6月に有水試験を実施し、河川法完成検査(6/25)及び電気事業法使用前自主検査(6/28、29)の合格により、**7月1日より営業運転を開始**しました。  
また、7月18日に、盛岡広域振興局土木部と合同で**築川ダム・築川発電所竣工式を開催**しました。
- 新規開発に向けた調査については、既存資料の再精査のほか現地調査を進めました。また、南本内地点ほか1地点において、流量観測調査を進めました。

② 再開発の推進

- 稲庭高原風力発電所については、11月に既設風車の撤去を完了し、12月に新風車の組立を行いました。  
なお、世界的な新型コロナウイルス感染症感染拡大及び半導体不足の影響により、営業運転に必要な海外製一部部品の納入に遅れが生じたことから、**当初計画から4か月遅れ、令和4年7月1日に営業運転を開始**しました。
- 胆沢第二・入畑発電所の再開発については、**水車発電機基礎構築設計業務の参考見積徴収の結果、費用が増嵩したため、当該業務の実施を令和4年度に延期しましたが、そのほかは、11月に固定価格買取制度の認定に必要な一般送配電事業者との系統連系契約が成立し、同月、固定価格買取制度の申込みを行い、令和4年3月に認定されるなど、概ね計画どおりに進めました**。
- 胆沢第二発電所の代替放流設備設置工事について、詳細設計に基づく工程の見直しを行い、**令和4年3月に契約を締結**しました。
- 再開発の検討については、既設水力発電所の再開発の可能性に関する検討を進めました。

主な課題と今後の対応

① 新規開発の推進

1) 新規開発に向けた調査のため、開発候補地点の現地調査や関係機関への現状調査を実施します。

② 再開発の推進

1) 胆沢第二・入畑発電所については、電気設備の更新に係る詳細設計を進めていきます。

2) 胆沢第二発電所の代替放流設備設置工事については、農業用水の供給に支障が生じないように、令和5年度の既設水車発電機等撤去工事の開始までの完成を目指し、工事を進めます。

令和3年度 経営評価総括表 [実績]

1 電気事業

(取組の方向性) (3)経営環境の変化に対応した安定経営

経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(%)	実績(%)	達成度
経常収支比率	124	132	A

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満

【特記事項】

経常収支比率は、豊水であった令和2年度と比較すると電力料収入は減収となったものの、委託費、修繕費の削減などによって132%となり、経営目標を達成しました。

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 適正な売電価格の確保	/	a	②	ア 業務の効率化	/	a
	イ 供給電力量の向上に向けた取組	/	a		イ 経費の平準化	/	a
	ウ 地域新電力との協働・連携	/	a	③	電力の新たな付加価値の検討	/	a

注) 成果状況 a: 目標とした成果を達成した b: (複数の取組目標を設定している場合)a判定のものとc判定のものが両方ある場合

c: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 適正な収入の確保

- 非FIT水力発電所の令和4年度から令和5年度までの電力供給契約の締結に向け、電力自給率の向上、安定経営及び地域貢献を基本方針とした公募型プロポーザルを実施し、契約候補者を選定しました。また、契約候補者との協議を経て、**12月に契約を締結**しました。これにより、**適正な収入を確保できる見通し**となりました。
- 令和7年度向けの容量市場への応札に向け、電力広域的運営推進機関が行う説明会への参加や情報収集を行い、10月に応札容量の登録を行いました。その結果、**全ての容量が約定**となり、**容量市場からの適正な収入を確保できる見込み**です。
- 大規模災害や新型コロナウイルス感染症等により、通常の故障対応が不可能な場合における発電所別故障対応に関する考え方(優先順位)について、特定課題検討グループにおいて検討を進め、大規模災害や新型コロナウイルス感染症等の条件下における発電所別故障対応に関する考え方の取りまとめを行いました。
- 現在の電力供給契約における東北電力(株)のプロポーザル提案事項である技術交流会を開催し、点検周期の延伸などについて情報交換しました。
- 非FIT電源の非化石証書について、電力供給契約に基づき、毎月の電力量認定及び契約先への証書の受け渡しを適切に行いました。

② 経営の効率化

- 技術担当課長会議で「IoT・AI技術の活用」を特定課題に選定し、特定課題検討グループにおいて、岩洞第一発電所等で実施中のIoT機器実証試験の推進や評価検証、昨年度未着手であった予兆診断やAI技術等に関する検討を行い、**新技術を保守業務等に活用したイメージの取りまとめ**を行いました。
- 年度別事業実施計画(10か年計画)について、令和3年度版を策定し、収支の平準化を図りました。
- 令和4、5年度の年間作業停止計画について、送配電事業者及びダム管理者などの関係機関と調整を完了し、3月31日付けで関係機関に通知しました。

③ 電力の新たな付加価値の検討

- 1) 国等の動向を注視しながら情報収集を行いました。
- 2) 築川発電所及び稲庭高原風力発電所の特定卸供給※について、県内の地域新電力を対象とした特定卸供給に関するアンケートを実施し、情報収集を行いました。その結果、卸電力市場の価格変動リスクを低減できないとの回答を得たことから、現在のスキームによる県内の地域新電力を対象とした特定卸供給については、実施を見送ることとしました。

※ FIT 認定を受けた発電所の電力は、原則一般送配電事業者に買取義務が課されるが、一般送配電事業者と小売電気事業者が特定卸供給契約を締結することで、発電所を特定して小売電気事業者が電力を調達することが可能となる。

主な課題と今後の対応

① 適正な収入の確保

- 1) 電力広域的運営推進機関と容量確保契約の締結に向け、令和8年度の経済的ペナルティのリスク等を視野に入れ、適切に検討の上、メインオークションの応札を行います。
- 2) 令和4年度からの仙人発電所水車発電機の大規模修繕・改良工事に向け、引き続き、1号・2号水車ランナの製作に係る受注者との協議打合せ等を行います。
- 3) 非FIT電源の非化石証書について、毎月の電力量認定及び契約先への証書の受け渡しを適切に行います。
- 4) 現在の電力供給契約の相手方に対し、経営状況や県内供給状況の確認などを行い、リスク管理に努めます。

② 経営の効率化

- 1) 今年度策定した年度別事業実施計画(10か年計画)及び年間作業停止計画に従い、工事・委託等を進めていきます。

③ 電力の新たな付加価値の検討

- 1) 制度や小売電気事業者等の動向について引き続き情報収集します。

令和3年度 経営評価総括表 [実績]

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (1)良質な工業用水の安定供給

経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
供給停止件数(件)	計画	0	0	0	0	0	0	D
	実績	0	0	0	1	0	1	

参考指標	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年平均
[参考]工業用水の濁度(度)〈供給規程15度以下〉	0.6	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	<u>0.5</u>
[参考]工業用水の水素イオン濃度(pH)	7.00	6.98	7.02	7.01	7.02	<u>7.00</u>	<u>7.00</u>

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上 100%未満、C：60%以上 80%未満、D：60%未満

※供給停止件数については、目標値を達成した場合はA、達成しなかった場合はD

【特記事項】

1) 令和2年度に漏水事故が発生した北上ろ過施設について、仮設導水管により給水していましたが、令和3年10月8日に同仮設管から漏水が発生したため、**ろ過水の給水が停止(10/8~10/18)**しました。

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 旧第三工水中部工業用水道加圧脱水機更新	/	a	②	ア 適切な保守作業の実施	/	a
	イ 第二北上中部工業用水道配水管更新	/	a		イ 適切な水質管理の実施	/	a
	ウ 第二北上中部工業用水道天日乾燥床増設	/	a		ウ トラブル発生時の対応	/	a
	エ 金ヶ崎ろ過施設(第二期)高圧受電設備等更新	/	a	③	新技術導入の検討	/	a
	オ 第一浄水場・第三浄水場配水管布設	/	b				
	カ 北上ろ過施設導水管本復旧	/	c				

注) 成果状況 a：目標とした成果を達成した b：(複数の取組目標を設定している場合)a判定のもとc判定のものが両方ある場合

c：目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

令和3年度に計画した工事等について、概ね計画どおり進めました。

なお、既設浄水場(第三浄水場ほか)配水管盛替工事については、**北上市道の払下げの時期の変更により、令和3年度は取り止め**としました。

[第二浄水場]

- ・配水管布設(1-2工区)工事 ⇒ R3.8.18 契約、R4.3.7 完成
- ・天日乾燥床増設(土木)工事 ⇒ R3.8.11 契約、R4.3.25 完成

[第三浄水場]

- ・加圧脱水機更新(機械設備)工事 ⇒ R2.7.31 契約、R4.2.28 完成
- ・加圧脱水機更新(電気設備)工事 ⇒ R2.10.15 契約、R4.2.28 完成

[北上ろ過]

- ・導水管本復旧工事 ⇒ R3.11.18 契約、R4.5.31 完成予定

※ 塗料メーカーの不適切行為によるダクタイル鋳鉄管メーカーの出荷自粛の影響により管材の納期が遅延したため繰越

[金ヶ崎ろ過]

- ・第二期高圧受電盤設備等更新工事 ⇒ R3.12.23 契約(工期：R3~R4)、R3 機器製作中

≪既設浄水場配水管分≫

[第一浄水場]

- ・配水管布設工事 ⇒ R3.9.27 契約、R4.3.30 完成

※ 令和4年4月1日給水開始予定の新規ユーザー向け配水管布設

[第三浄水場ほか]

- ・配水管盛替工事 ⇒ 取り止め(R4以降公告予定)

※ 北上市道の払下げが後ろ倒しとなるため延期



② 適切な保守管理の実施

- 1) 維持管理要領に基づき計画的な点検及び委託業務を実施しました。  
沈殿池ほか清掃・定期点検 ⇒ 9/14 第二浄水場終了、9/8 第三浄水場終了
- 2) **令和2年度に発生した北上ろ過施設の漏水事故**について、塗料メーカーの不適切行為によるダクタイトル铸铁管メーカーの出荷自粛の影響を受けたものの、**令和4年5月末に本復旧工事が完了**しました。
- 3) 今年度の各設備の点検結果を踏まえ、年度別事業実施計画（10か年計画）の見直しを行いました。

③ 新技術の導入

- 1) 空中ドローンを活用した建設工事現場の工事写真撮影などを実施し、操作研修（局内）に参加しました。また、空中ドローンを活用し、建築設備の年次点検を実施しました。

主な課題と今後の対応

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

- 1) 各工事・委託が計画どおりに完了するよう、適切な工程管理に努めていきます。

② 適切な保守管理の実施

- 1) 各設備の点検結果や改修工事等の実績を踏まえ、必要に応じて維持管理要領の見直しを行います。

③ 新技術の導入

- 1) 引き続き、空中ドローンの活用の可能性について検討を行うとともに、新技術の導入や今後の動向について情報収集等を行います。

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (2)新たな水需要への対応

経営目標、参考指標の状況

設定なし

取組内容の進捗状況

取組内容	進捗	成果
水需要に応じた施設の整備		b

注) 成果状況 a: 目標とした成果を達成した b: (複数の取組目標を設定している場合)a 判定のもと c 判定のものが両方ある場合  
c: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

水需要に応じた施設の整備について、新北上浄水場建設事業及び取水口建設事業は、半導体不足や塗料メーカーの不適切行為によるダクタイル鋳鉄管メーカーの出荷自粛の影響などにより一部繰越工事があったものの、令和4年度の機器据付・試験調整に向け、概ね計画どおり進めました。

[浄水場建設事業] > 令和2年3月27日に契約締結済 (工期: R1~R4)

- ・土木(第一期)工事 ⇒ 現地施工中
- ・建築工事 ⇒ 現地施工中
- ・建築工事監理業務委託 ⇒ 業務執行中
- ・機械設備(第一期)工事 ⇒ 機器製作中、一部配管据付
- ・電気設備(第一期)工事 ⇒ 機器製作中、一部機器据付

[取水口建設事業] > 順次工事等発注 (工期: R2~R4)

- ・取水口建設土木工事 ⇒ 現地施工中
- ・取水ポンプ棟建築工事 ⇒ R3.8.24 契約、現地施工中 (R3年度出来高繰越)
- ・建築工事監理業務委託 ⇒ R3.9.21 契約、業務執行中
- ・取水口建設機械設備工事 ⇒ R3.4.12 契約、機器製作中
- ・取水口建設電気設備工事 ⇒ R3.3.30 契約、機器製作中 (R3年度出来高繰越)

[配水管布設] > 順次工事等発注 (工期: R2~R4) > 市道整備や北上工業団地内の用地整備等への対応

≪新浄水場分≫

- ・配水管布設工事(第2工区) ⇒ R4.6.30 完成 (空気弁の位置を変更するため繰越)
- ・配水管布設工事(第1工区) ⇒ R3.12.2 契約、現地施工中 (R3年度出来高繰越)
- ・配水管布設工事(第3工区) ⇒ R4.3.28 契約

主な課題と今後の対応

- 1) 令和5年4月からの一部給水開始に向けて、新北上浄水場や取水口、配水管の各施工業者との間で全体工程を随時調整するなど、工事全体の工程及び予算の管理を徹底し、施設・設備等の整備に影響が生じないよう努めていきます。
- 2) 配水管布設工事については、施工個所の交通規制により車両の往来に影響があることから、周辺企業の理解と協力が得られるよう調整し、令和4年度内の完成に向けて工事を進めていきます。また、繰越工事を予定通り完成できるように施工管理を徹底します。

令和3年度 経営評価総括表 [実績]

2 工業用水道事業  
(取組の方向性) (3) 安定的な事業運営

経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(%)	実績(%)	達成度
經常収支比率	107	112	A

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満

【特記事項】

經常収支比率は、ユーザー企業の契約水量の増量等により増収となったことなどから、経営目標を達成しました。

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 業務の効率化	/	a	②	ア 契約水量の維持・増量に向けた取組	/	a
	イ 経費の平準化	/	a		イ 改良費に対する補助金や公営企業債の要望	/	a
	ウ 効率的な経営のあり方についての検討	/	a				

注) 成果状況 a: 目標とした成果を達成した b: (複数の取組目標を設定している場合)a 判定のもの c 判定のものが両方ある場合  
c: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 経営の効率化

- 業務の効率化について、同一箇所・同種の工事等を合冊発注し、経費節減に努めました。
- 経費の平準化について、年度別事業実施計画を見直し、工事・委託等の費用の平準化を図りました。
- 効率的な経営の在り方の検討については、金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジングによる経費の縮減に向けて、金ヶ崎ろ過施設（第二期）電気設備の更新工事等を実施しています。(R3.12.23 契約済、R3 機器製作)

② 適切な収入の確保

- 契約水量の維持・増量に向けた取組として、4月及び11～12月にユーザー訪問を実施し、使用水量の動向などについて情報交換を行いました。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、希望のあったユーザーについてはウェブを活用し決算概要説明を実施しました。また、新規契約ユーザー等の給水手続きを適切に実施しました。
- 全ユーザーを対象に需要量調査を行い、今後の需要量の把握を行いました。
- 改良費に対する補助金や公営企業債の要望として、6月17日に政府予算要望を行いました。
- 高経年化した脱水機の増強等にあたり国土強靱化に資する、国庫補助金を活用しました。

主な課題と今後の対応

① 経営の効率化

- 令和3年4月に事業統合し、事業全体で改良・修繕・委託に係る長期計画の平準化や集中化による弾力的な運用が可能となったことから、引き続き効率的な工事発注や施設改修等を図っていきます。
- 令和5年度から予定している金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジング等により、経費削減に努めていきます。

② 適切な収入の確保

- 新型コロナウイルス感染症の影響など、ユーザー企業の実使用水量の動向に注視していきます。
- 改良費に対する補助金や公営企業債に関する国の動向等に注視しながら、適時適切に国への要望等を行います。

・実使用水量、料金収入、収入、支出の状況については補足説明資料のとおり

令和3年度 経営評価総括表 [実績]

3 組織力向上と地域貢献  
(取組の方向性) (1)組織力向上

経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	3/4	4/4	年間	達成度
第二種電気主任技術者 新規資格取得者数(人) (※計画期間(R2~R5)累計)	計画	3				3	A
	実績	4	4	4	5	5	
第一種ダム水路主任技術者 新規資格取得者数(人) (※計画期間(R2~R5)累計)	計画	1				1	A
	実績	0	0	0	1	1	

参考指標	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]第一・二種電気主任技術者有資格者数(人)	6	7	7	7	7	8	8
[参考]第一種ダム水路主任技術者有資格者数(人)	6	6	6	6	6	7	7
[参考]専門研修受講者数(人)	412	125	126	251	74	54	379
[参考]職員満足度調査における満足度(%)	79				70		70
[参考]企業局施設見学者数(人)	1,574	33	29	62	38	40	140

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上 100%未満、C：60%以上 80%未満、D：60%未満

【特記事項】

- 1) **第二種電気主任技術者**の新規資格取得者数については、実務経験により**2名が資格を取得**したほか、**1名が試験合格**しました(免状交付がR4.4月のため、資格取得はR4実績に計上)。
- 2) **第一種ダム水路主任技術者**の新規資格取得者数については、実務経験により**1名が資格を取得**しました。また、資格取得に向けて、県土整備部のダム点検に同行し経験を積む取組みを行っています。

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 職員採用・人事交流と組織体制の整備	/	a	③	ア ワーク・ライフ・バランスの確保	/	a
	イ 有資格者の計画的な確保	/	a		イ 職場の働きやすさ向上	/	b
	ウ 人材育成・技術継承	/	a		ウ 安全衛生対策の充実	/	a
	エ 経営力の強化	/	a	④	ア 広報活動	/	a
②	ア 災害への対応体制の確立	/	a		イ 企業局施設の見学者の受入れ、施設見学会の開催	/	a
	イ リスクマネジメント	/	a				

注) 成果状況 a：目標とした成果を達成した b：(複数の取組目標を設定している場合)a判定のものとc判定のものが両方ある場合  
c：目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 人材の確保・育成

- 1) リクルート活動の一環として、県内の学校に企業局職員を講師として派遣し、業務説明(5/25、11/25、2/4)を行いました。
- 2) 高校生及び大学生等を対象とした**インターンシップ等**を計画しましたが、**新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止**しました。
- 3) 第二種電気主任技術者の資格取得の前提となる第三種電気主任技術者試験に4名合格しました。
- 4) 研修検討会議において決定した今年度の専門研修実施計画に沿って、研修を実施しました。

② 危機管理対策、リスクマネジメント

- 1) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、岩手県企業局新型インフルエンザ等対策業務継続計画（BCP計画）を改訂しました。  
**【岩手県企業局新型インフルエンザ等対策業務継続計画実行期間】**
  - ・ 令和3年7月2日から令和3年12月31日まで
  - ・ 令和4年1月17日から令和4年5月31日まで
- 2) 災害応急対応訓練について、災害による被害等が発生したことを想定し、被害想定を作成、情報収集・伝達訓練の災害発生初動期における対応訓練を令和4年1月19日に実施しました。
- 3) 新型コロナウイルス感染症感染拡大への対応として、運転当直員が感染した場合でも電気の安定供給を確保できるよう、**集中監視制御システム（24時間運転監視）の操作室を別建屋に増設**しました。

③ 職場環境の充実

- 1) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、感染が拡大している地域等への出張は慎重に判断することとし、手洗いや咳エチケットの励行などの基本的な感染防止対策を継続実施しました。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のほか、子育て・介護等と仕事の両立を図るため、在宅勤務制度の活用や勤務日の割振り変更の弾力化、分散勤務など、**感染リスクの低減や職員の多様な働き方の推進**に取り組みました。
- 2) 施設総合管理所大物倉庫等建替工事について、建築確認審査に時間を要したことにより、工事発注手続きが遅れましたが、令和4年3月に工事契約を締結しました。（再掲）

④ 企業局事業の理解促進

- 1) **施設見学会**については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、**開催を取り止**めました。
- 2) **企業局施設カードの配布及び施設見学者の受入れ**について、令和2年12月より休止していましたが、国内における新型コロナウイルス感染症感染拡大状況が減少傾向にあることを踏まえ、感染拡大防止対策を徹底した上で、**令和4年1月から全面的に再開**しました。
- 3) ウェブ開催となったいわて気候変動チャレンジフェスタ2021にバーチャル出展しました。

主な課題と今後の対応

① 人材の確保・育成

- 1) 職員採用については、積極的なリクルート活動により人材確保に努めるとともに、業務を円滑に推進するため、必要な組織体制の整備や適正な人員配置に引き続き努めます。
- 2) 第二種電気主任技術者や第一種ダム水路主任技術者の資格取得に向けて、局内の支援・奨励による取得者数の更なる確保・育成を目指します。
- 3) 「企業局職員育成ビジョン」に基づき、専門性と経営感覚を備えた意識・能力の高い職員養成に取り組んでいきます。

② 危機管理対策、リスクマネジメントの取組

- 1) リスクマネジメントにおいては、新型コロナウイルス感染症への対応も含めて、今年度の各所属におけるリスクの洗い出し及び対策について取りまとめました。
- 2) 災害応急対策マニュアルについては、今後も必要に応じ見直しを行います。

**③ 職場環境の充実**

- 1) 今年度策定した「企業局働き方改革ロードマップ」を基に、ワーク・ライフ・バランスの確保や働きやすい職場環境の実現に向けた取組を進めていきます。また、今後の取組推進にあたっては、働き方改革推進員が中心となり、働きやすい職場環境づくりに係る職員アンケート結果等を踏まえ、職員相互に取組方向を共有しながら、働き方改革の取組を進めていきます。
- 2) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、引き続き、基本的な感染対策を徹底します。
- 3) 施設総合管理所大物倉庫等建替工事について、令和4年度の完成を目指し、工事を進めます。(再掲)

**④ 企業局事業の理解促進**

- 1) 企業局施設カードの配布及び施設見学者の受入れについて、引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、適宜判断します。
- 2) これまでと同様に感染拡大防止対策を徹底した上で、可能な範囲で地域における環境学習機会の提供や企業局の理解促進を図るための代替策等について検討します。

令和3年度 経営評価総括表 [実績]

3 組織力向上と地域貢献  
(取組の方向性) (2)地域貢献

経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(t以上/年)	実績(t以上/年)	達成度
地域貢献による温室効果ガス削減量	120以上	114	B

参考指標	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]クリーンエネルギー導入支援事業の支援金額(千円)	23,000	0	257	257	0	28,875	29,132
[参考]クリーンエネルギー導入支援事業の支援件数(件/年)	9	0	1	1	0	8	9
[参考]植樹活動支援事業の支援金額(千円)	2,300	1,001	538	1,539	365	200	2,104
[参考]植樹活動支援事業の支援件数(件/年)	13	6	4	10	2	1	13

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満

【特記事項】

地域貢献による温室効果ガス削減量について、植樹活動支援事業が2件中止となり、**削減量は114tと経営目標に対し未達**となりました。

取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 小売電気事業者と連携した取組	/	a	②	ア クリーンエネルギー導入促進事業(市町村等向け補助事業)	/	a
	イ 一般会計への繰出し	/	a		イ 環境保全・クリーンエネルギー導入促進事業向けの一般会計への繰出し	/	a
					ウ 市町村等が行う植樹活動への支援	/	a
				③	水素利活用への取組	/	a

注) 成果状況 a: 目標とした成果を達成した b: (複数の取組目標を設定している場合)a判定のものc判定のものが両方ある場合  
c: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 電力供給を通じた地域貢献

- 平成30年度から、東北電力株式会社と連携して取り組んでいるいわて復興パワーによる電気料金の割引については、延べ適合事業者数は778件となりました。
- また、令和2年4月1日より、久慈地域エネルギー株式会社と連携し、滝発電所で発電したCO<sub>2</sub>フリーの電力を供給する「アマリングリーンでんき」の取組を実施し、契約者数は36件となりました。
- さらに、令和2年6月1日より、東北電力株式会社と連携し、企業局の水力発電所で発電したCO<sub>2</sub>フリーの電力を県内企業等に供給する「いわて復興パワー水力プレミアム」の取組を実施し、契約者数は16件となりました。

② 地球温暖化防止に向けた取組

- クリーンエネルギー導入支援事業では、市町村等が行う9件(うち震災復興関連事業2件、台風10号関連事業1件)の省エネルギー設備導入事業に支援を行いました。
- 植樹活動支援事業では、15件の内示を行いました。うち2件については新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止となったことから、その他13件を支援しました。うち2件については企業局職員も参加して植樹活動を行いました。

③ 水素利活用推進プロジェクト

- 「環境保全・クリーンエネルギー導入促進積立金」を活用し、令和3年度「水素利活用による再生可能エネルギー推進事業」への一般会計繰出しによる財政支援を実施しました。

主な課題と今後の対応

① 電力供給を通じた地域貢献

- 1) いわて復興パワーによる電気料金の割引及びCO<sub>2</sub>フリーの電力を供給する取組については、令和4年度から令和5年度までの電力供給契約の相手方と協議・調整を行い、**取組の拡大に向けた検討**を行います。

② 地球温暖化防止に向けた取組

- 1) 植樹活動支援事業については、**令和5年度の全国植樹祭に向け農林水産部と連携**するなど、引き続き、取組を進めていきます。

③ 水素利活用推進プロジェクト

- 1) 「環境保全・クリーンエネルギー導入促進積立金」を活用し、環境生活部が行う再生可能エネルギー由来の水素を利活用する取組について、引き続き、検討会議への参加や財政支援などに取り組みます。



【補足説明資料】

1 電気事業

① 供給電力量電源別内訳(百万 kWh)

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
水力	計画	205	106	311	58	115	484
	実績	222	109	332	77	99	507
	達成率	108%	103%	107%	132%	86%	105%
風力	計画	13	8	21	14	15	50
	実績	12	10	22	15	17	55
	達成率	93%	118%	103%	107%	118%	108%
太陽光	計画	0.47	0.41	0.88	0.24	0.19	1.31
	実績	0.55	0.47	1.02	0.28	0.16	1.46
	達成率	116%	116%	116%	118%	84%	112%
合計	計画	219	115	333	72	130	536
	実績	235	120	355	92	116	563
	達成率	108%	104%	106%	127%	90%	105%

各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、表中の数字で計算した場合、合計や達成率が一致しない場合があります。

② 気象データ(%)

	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
出水率	90	67	81	106	105	90
降水量平年比	113	85	96	116	113	104
平均風速平年比	94	116	103	92	97	99
日射量平年比	102	99	100	88	103	99

③ 供給停止\*件数の過去平均と原因別比較(件)

	H22-H30 平均	R2	R3	R4	R5
人的ミス等	1	1	2		
設備不良等	2	4	2		
合計	3	5	4		

\*供給停止：人的ミスや設備不良など、企業局の責による理由で、計画した電力の供給ができないこと

④ 発電所建屋等の耐震化工事(箇所)

	R1 まで	R2	R3	R4	R5
計画	—	2	2		
実績	16	2	1		
達成率	80%	90%	95%		

⑤ 電力土木施設の耐震診断(箇所)

	R1 まで	R2	R3	R4	R5
計画	—	2	5	3	2
実績	25	2	5		
達成率	68%	73%	86%		

令和3年度 経営評価総括表 [実績]

⑥ 電力料収入(百万円、税抜)

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
水力	予算	1,486	1,402	2,888	1,292	1,334	5,514
	実績	1,520	1,332	2,852	1,276	1,307	5,434
	達成率	102%	95%	99%	99%	98%	99%
風力	予算	315	187	502	326	337	1,165
	実績	263	221	484	331	372	1,187
	達成率	84%	118%	97%	102%	110%	102%
太陽光	予算	17	15	32	10	10	53
	実績	20	17	37	10	6	53
	達成率	113%	115%	114%	99%	56%	100%
合計	予算	1,818	1,604	3,422	1,628	1,681	6,731
	実績	1,803	1,570	3,373	1,617	1,684	6,674
	達成率	99%	98%	99%	99%	100%	99%

各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、表中の数字で計算した場合、合計や達成率が一致しない場合があります。

⑦ 収入・支出の状況(百万円、税抜)

	経営計画	予算額	決算額	
経常収益	6,991	7,040	6,987	(経常収益=電気事業収益-特別利益)
経常費用	5,641	5,912	5,304	(経常費用=電気事業費用-特別損失-予備費)
経常利益	1,350	1,128	1,683	(経常利益=経常収益-経常費用)

2 工業用水道事業

① 実使用水量(千m<sup>3</sup>、%)

	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
計画	2,038	2,061	4,099	2,056	2,140	8,295
実績	2,000	2,292	4,292	2,227	2,338	8,858
達成率	98%	111%	104%	108%	109%	107%

② 料金収入(百万円、税抜)

		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
一般給水	予算	145	147	292	147	148	587
	実績	146	150	296	152	153	602
	達成率	100%	102%	101%	103%	103%	103%
ろ過給水	予算	53	54	107	54	52	213
	実績	53	54	107	51	51	209
	達成率	100%	100%	100%	94%	98%	98%
合計	予算	198	201	399	201	200	800
	実績	199	204	403	202	205	810
	達成率	100%	101%	101%	100%	103%	101%

各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、表中の数字で計算した場合、合計や達成率が一致しない場合があります。

③ 収入・支出の状況(百万円、税抜)

	経営計画	予算額	決算額	
経常収益	921	846	854	(経常収益=工業用水道事業収益-特別利益)
経常費用	859	842	764	(経常費用=工業用水道事業費用-特別損失-予備費)
経常利益	62	4	90	(経常利益=経常収益-経常費用)

## 令和4年度 第1四半期 取組状況の総括

### 1 電気事業

第1四半期においては、**出水率が97%**と平年を下回ったことなどから、**供給電力量は計画値を下回りました**。また、再生可能エネルギーの維持拡大に向けた**再開発事業**については、概ね計画どおり進みました。

#### 【主な成果等】

(1) 「**運転年数100年**」を実現するための**基盤づくり**については、安定供給の目安となる供給電力量の目標達成に向けて、計画的な施設の修繕・改良に取り組んでいますが、**世界的な半導体等の不足の影響**により必要な部品の納期が長期化するなど、**一部の工事で工期の見直し等が必要**となっています。

また、**四十四田発電所取水塔の耐震診断**は、国土交通省事業の影響を受けることから、**今年度の実施を見送る**こととしました。

(2) **再生可能エネルギーの維持拡大**については、7月1日に**稲庭高原風力発電所**が営業運転を開始しました。



稲庭高原風力発電所

指標一覧（第1四半期時点）

(1) 「運転年数100年」を実現するための基盤づくり		R4目標値	第1四半期（実績値/計画値）
経営目標	供給電力量(百万 kWh)	594	218/222
	発電所建屋等の耐震化率(%)	100	95/95
	電力土木施設の耐震診断進捗率(%)	95	86/86
取組内容	進捗状況：11項目中 a 10項目(91%) b 1項目(9%) c なし		
(2) 再生可能エネルギーの維持拡大		R4目標値	第1四半期（実績値/計画値）
経営目標	新規開発・再開発による供給電力量(千 kWh)	12,699	2,719/3,573
取組内容	進捗状況：6項目中 a 6項目(100%) b なし c なし		
(3) 経営環境の変化に対応した安定経営		R4目標値	第1四半期（実績値/計画値）
経営目標	経常収支比率(%)	127	※年度末に評価
取組内容	進捗状況：6項目中 a 6項目(100%) b なし c なし		

注) 取組状況の判定基準 a：取組が完了できる見込み b：取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c：取組完了が困難な見込み

#### 【主な課題と今後の対応】

**半導体不足等**による部品の長納期化等に伴う**工期の見直し**については、引き続き**メーカー等に情報収集**しながら**工事の実施時期**について検討を進めていきます。

## 2 工業用水道事業

第1四半期においては、工事・委託とも概ね計画どおりに進んでおり、良質な工業用水を安定的に供給しています。

### 【主な成果等】

- (1) **良質な工業用水の安定供給**については、基本的な新型コロナウイルス感染対策を継続するほか、職員が罹患した場合の管理体制について整理するなど、**適切な保守管理の実施**に努めており、**安定供給を確保**しています。また、令和2年度に発生した**老朽化等に伴う漏水事故の本復旧工事**が完成しました。
- (2) **新たな水需要への対応**については、施設整備に関する**新北上浄水場建設事業及び取水口建設事業**が概ね計画どおり進んでいます。
- (3) **安定的な事業運営**については、ユーザー企業の水需要の動向を踏まえ、**金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジングによる経費の縮減**に向けて、**設計業務**を進めています。  
また、契約水量の維持・増量に向けた取組として、**ユーザー訪問**による使用水量の動向などについての**情報交換**を行っています。

指標一覧（第1四半期時点）

(1) 良質な工業用水の安定供給		R4目標値	第1四半期（実績値/計画値）
経営目標	供給停止件数(件/年)	0	0/0
取組内容	進捗状況：8項目中 a 8項目(100%) b なし c なし		
(2) 新たな水需要への対応			
取組内容	進捗状況：1項目中 a 1項目(100%) b なし c なし		※経営目標・参考指標設定なし
(3) 安定的な事業運営		R4目標値	第1四半期（実績値/計画値）
経営目標	経常収支比率(%)	109	※年度末に評価
取組内容	進捗状況：5項目中 a 5項目(100%) b なし c なし		

注) 取組状況の判定基準 a：取組が完了できる見込み b：取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c：取組完了が困難な見込み

### 【主な課題と今後の対応】

**新たな水需要への対応**について、令和5年4月からの一部給水開始に向けて、関係機関との調整を行いながら、**整備を進めていきます**。

**新北上浄水場の維持管理体制及び新北上浄水場第2期建設工事の着工時期**について、課題を整理し**速やかに方針を決定**します。

### 3 組織力向上と地域貢献

第1四半期においては、新型コロナウイルス感染症の動向に配慮しつつ、概ね計画どおり進んでいます。

#### 【主な成果等】

- (1) 組織力の向上については、1名が第二種電気主任技術者免状の交付を受けました。  
また、企業局のPR及びリクルート活動の一環として、県内の学校に企業局職員を講師として派遣し、業務説明を行いました。
- (2) 危機管理対策については、新たに3発電所の災害時応急対策協定を岩手県建設業協会と締結したことにより、企業局が所有する全ての発電施設の応急対策業務に係る協力体制を構築しました。
- (3) 地域貢献については、「いわて復興パワー」による電気料金の割引や企業局の水力発電所で発電したCO<sub>2</sub>フリーの電力を供給する取組を継続しています。また、さらなる普及に向け、東北電力(株)と適用要件の緩和について協議を行いました。  
温室効果ガスの削減目標の達成に向けて、クリーンエネルギー導入支援事業では14事業に対し交付決定を行ったほか、17件の植樹活動への支援を決定しました。

指標一覧（第1四半期時点）

(1) 組織力向上		R4目標値	第1四半期（実績値）
経営目標 ※計画期間(R2～R5)累計	第二種電気主任技術者 新規資格取得者数（人）	4	6
	第一種ダム水路主任技術者 新規資格取得者数（人）	1	1
取組内容		進捗状況：11項目中 a 11項目(100%) b なし c なし	
(2) 地域貢献		R4目標値	第1四半期（実績値）
経営目標	地域貢献事業による温室効果ガス削減量(t以上/年)	120以上	※年度末に評価
取組内容		進捗状況：6項目中 a 6項目(100%) b なし c なし	

注) 取組状況の判定基準 a：取組が完了できる見込み b：取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c：取組完了が困難な見込み

#### 【課題と今後の対応】

- (1) 第二種電気主任技術者や第一種ダム水路主任技術者の資格取得に向けて、局内の支援・奨励による取得者数の更なる確保・育成を目指します。
- (2) いわて復興パワーについては、供給可能な電力量に余裕があることから、東北電力株式会社と適用要件の緩和に向けた協議を継続しつつ、関係部局と連携しながら対象企業等にPRを行うなど、更なる活用促進を図ります。



1 電気事業

(取組の方向性) (1)「運転年数100年」を実現するための基盤づくり

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
供給電力量(百万 kWh)	計画	222	125	347	111	136	594	
	実績	218						
	達成率	98%						
発電所建屋等の耐震化率(%)	計画	95	95	95	95	100	100	
	実績	95						
電力土木施設の耐震診断進捗率(%)	計画	86	86	86	86	95	95	
	実績	86						

参考指標 (H22-30 平均)	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]水力発電所の供給停止件数(件/年)	3	2					
[参考] " の供給停止時間(時間/年)	68	363					
[参考] " の供給停止電力量(百万 kWh/年)	0.055	0.645					

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上100%未満、C: 60%以上80%未満、D: 60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

- ① 水力、風力及び太陽光の合計の供給電力量は218百万 kWh、**達成率は98%**と計画値を下回りました。
  - 1) **水力発電**は、**出水率が97%**と平年をやや下回ったことなどから、**供給電力量は97%**と計画値をやや下回りました。
  - 2) **風力発電**は、平均風速が99%と平年をやや下回りましたが、風況が安定していたことから、**供給電力量は111%**と計画値を上回りました。
  - 3) **太陽光発電**は、日射量が106%と平年を上回ったため、**供給電力量は115%**と計画値を上回りました。
  - 4) 水力発電所の**供給停止**は、**胆沢第二発電所と入畑発電所の計2件**発生しました。
- ② 発電所建屋等の耐震化率について、**仙人発電所建屋の耐震化工事**を進めており、令和4年11月に完成する予定です。これをもって**全ての発電所建屋の耐震化が完了**となります。
- ③ 電力土木施設の耐震診断進捗率について、今年度3施設の耐震診断を予定していましたが、そのうち**四十四田発電所取水塔**は、国土交通省が進めている**北上川上流ダム再生事業(四十四田ダム嵩上げ)**の影響を受けることから、**今年度の実施を見送る**こととしました。残り2施設については発注に向けた手続きを進めています。

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容			進捗	成果	取組内容			進捗	成果
①	ア	年度別事業実施計画に基づく修繕・改良等の実施	b	/	③	ア-1	新技術の導入 (IoT)	a	/
	イ	電力土木施設等長寿命化対策	a	/		ア-2	新技術の導入 (ドローン)	a	/
	ウ	耐震化計画の推進	a	/	④	ア	農業用水の安定供給に向けた機能維持	a	/
②	ア	適切な保守作業の実施	a	/		イ	河川管理者等との連携	a	/
	イ	風水害への備え	a	/		ウ	発電所共同運転事業者との連携	a	/
	ウ	マニュアル等の見直し	a	/					

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み  
 注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のもの C判定のものが両方ある場合  
 C: 目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

- 1) 年度別事業実施計画に従い、修繕・改良工事等を進めていますが、**世界的な半導体等の不足の影響**により必要な部品の納期が長期化するなど、**一部の工事で工期の見直し等が必要**となっています。
- 2) 電力土木施設の長寿命化に関する検討会議を6月17日に開催し、耐震化スケジュール等今年度の取組みについて協議しました。
- 3) 施設総合管理所大物倉庫等建替工事は、年度内の完成を目指し現地工事を進めています。
- 4) 県南施設管理所増築工事は、年内の工事完成を目指し現地工事を進めています。

② 適切な保守管理

- 1) 年間作業停止計画表に従い、発電所の定期点検作業等を実施しています。なお、作業の安全性等の確認のため、**電気主任技術者による指導 (保安パトロール) を実施**する予定です。
- 2) 年間スケジュールに基づき、工事等に伴う**河川法手続き及び協議を随時実施**しています。
- 3) 風水害への備えとして、発電所における**自然災害による被災の危険性がある個所の追加調査を実施**する予定です。

③ 新技術の導入

- 1) **IoT・AI技術の活用**については、昨年度に引き続き技術担当課長会議の特定課題として位置づけ、検討グループにおいて、**既存の集中監視制御システムでは遠隔監視していないデータの収集とそれらを活用するためのクラウドサービス等のインフラについて情報収集**を行っています。
- 2) **垂直ドローン、水面ドローンによる土木施設の調査**について、事業所への**事前説明や日程調整**を行いました。また、**メーカーによる現地確認**を6月16日に行いました。

④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携

- 1) 岩洞ダム共有施設の改良工事 (国営岩手山麓農業水利事業) について、随時、工事進捗状況などを確認し、岩手山麓農業水利事業所と工程等について協議しました。
- 2) **若柳堰堤ゲート自動制御装置更新工事**は、制御装置の工場製作を進めており、**年内には現地工事が完了**する見込みです。
- 3) **北上川上流ダム再生事業**に伴う発電所への影響について、7月5日に**北上川ダム統合管理事務所から進捗状況の報告**を受けました。
- 4) 地域貢献の一環として、**湯田ダムの共同利水事業者3者** (企業局、東北自然エネルギー株式会社、岩手中部土地改良区) で**和賀川河川環境保全事業**を6月2、3日に実施しました。



(3) 主な課題と今後の対応

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

- 1) 半導体不足等による部品の長納期化等に伴う工期の見直しについては、引き続きメーカー等に情報収集しながら工事の実施時期について検討していきます。
- 2) 仙人発電所建屋等耐震化工事、施設総合管理所大物倉庫等建替工事及び県南施設管理所増築工事は、年度内の完成に向けて工事を進めます。

② 適切な保守管理

- 1) 河川法手続きは、該当する工事等のスケジュールに合わせて適宜手続きを進めます。

③ 新技術の導入

- 1) 垂直ドローン、水面ドローンによる土木施設調査業務委託の発注に向けた手続きを進めます。

④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携

- 1) 岩洞ダム共有施設の改良工事は、引き続き、岩手山麓農業水利事業所と工事の進捗状況等について協議・調整を行い、令和4年度に計画している工事の完成を目指します。
- 2) 胆沢第二発電所の若柳堰堤ゲート自動制御更新工事は、引き続き機器製作を進め、10月からの現地据付を目指します。

令和4年度 経営評価総括表 [第1四半期]

1 電気事業

(取組の方向性) (2)再生可能エネルギーの維持拡大

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	3/4	4/4	年間	達成度
新規開発・再開発による供給電力量 (千 kWh)	計画	3,573	3,344	3,189	2,593	12,699	
	実績	2,719					

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

昨年7月に運転開始した**築川発電所**は、過去平均よりも雨が少なく流入量も少なかったため、**供給電力量が計画を下回りました**。また、再開発事業を実施していた**稲庭高原風力発電所**は**7月1日に営業運転を開始**しました。

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	イ-1 新規開発に向けた調査等(水力発電)	a		②	ア 胆沢第二発電所の再開発	a	
	イ-2 新規開発に向けた調査等(水力発電以外)	a			イ 入畑発電所の再開発	a	
					ウ 稲庭高原風力発電所の再開発	a	
					エ 再開発の検討	a	

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 新規開発の推進

- 水力発電の新規開発に向け、**過年度に実施した開発可能性調査結果等の再精査**を進めました。また、**南本内地点ほか1地点において河川流量調査**を進めました。
- 新規開発に関する制度の動向等について、**公営電気事業経営者会議等**を通じて情報収集を行いました。

② 再開発の推進

- 稲庭高原風力発電所再開発事業**においては、**法定検査や電力供給契約の締結**など、必要な手続きを進め、**7月1日に営業運転を開始**しました。
- 胆沢第二発電所・入畑発電所電気設備更新工事は、全体工程に沿って、設備の詳細仕様の検討を行っています。また、**水車発電機基礎の撤去・再構築に係る詳細設計**を進めています。
- 胆沢第二発電所代替放流設備設置工事のうち土木工事は現地工事**を進めています。また、**機械電気設備工事**は6月6日に入札公告を行い、7月20日に**契約を締結**しました。

(3) 主な課題と今後の対応

① 新規開発の推進

- 岩手県地球温暖化対策実行計画の改定を踏まえ、「**温室効果ガス排出量 2050年実質ゼロ**」を見据えた**企業局としての取組の検討**が必要です。**経営戦略検討チーム**を新たに組織し、目標達成に向けた**具体的な開発計画、投資計画の検討**を進めます。
- 新規水力開発候補地点の絞り込み**を行い、**可能性調査業務委託の発注**に向けた手続きを進めるほか、**現地調査**を実施します。

② 再開発の推進

**胆沢第二発電所代替放流設備設置工事**は、**農業用水の供給に支障が生じないよう、令和5年度の既設水車発電機等撤去工事開始までの完成**を目指し工事を進めます。

令和4年度 経営評価総括表 [第1四半期]

1 電気事業

(取組の方向性) (3)経営環境の変化に対応した安定経営

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(%)	実績(%)	達成度
経常収支比率	127	※年度末に評価	

注) 達成度:実績値 / 目標値 × 100 A:100%以上、B:80%以上100%未満、C:60%以上80%未満、D:60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

なし

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 適正な売電価格の確保	a	/	②	ア 業務の効率化	a	/
	イ-2 供給電力量の向上に向けた取組 (高効率機器の導入)	a	/		イ 経費の平準化	a	/
	ウ 地域新電力との協働・連携	a	/	③	電力の新たな付加価値に関する情報収集等	a	/

注) 進捗状況 a:取組が完了できる見込み b:取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c:取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A:目標とした成果を達成した B:(複数の取組目標を設定している場合)A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C:目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 適正な収入の確保

- 容量市場において令和2年度に約定となった令和6年度分の電力供給について**停止計画の調整**を行っています。また、**令和8年度分のメインオークションへの参加に向け、情報収集**を行っています。
- 非FIT電源の電力供給契約における東北電力(株)のプロポーザル提案事項である技術交流会を、7月28日に開催します。
- 非FIT電源の非化石証書について、電力供給契約に基づき、毎月の電力量認定及び契約先への証書の受け渡しを適切に行っています。

② 経営の効率化

- 技術担当課長会議で「IoT・AI技術の活用」を引き続き**特定課題に選定し、グループで検討**を進めています。
- 収支の平準化に向けて、令和4年度版の年度別事業実施計画(10か年計画)を策定しました。

(3) 主な課題と今後の対応

世界的な半導体等の不足による部品の長納期化などの影響で、一部の工事で工期の見直しが必要となっていることから、工事の実施時期について、引き続きメーカー等に情報収集しつつ、収支の平準化も考慮して検討していきます。

令和4年度 経営評価総括表 [第1四半期]

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (1)良質な工業用水の安定供給

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間	達成度
供給停止件数(件)	計画	0	0	0	0	0		
	実績	0						
参考指標		参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年平均
[参考]工業用水の濁度(度) (供給規程15度以下)		0.6	0.7					
[参考]工業用水の水素イオン濃度(pH)		7.0	7.0					

注) 達成度：実績値 / 目標値 × 100 A：100%以上、B：80%以上100%未満、C：60%以上80%未満、D：60%未満

※供給停止件数については、目標値を達成した場合はA、達成しなかった場合はD [年度末に判定]

【特記事項】

特記事項無し

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	イ 第二浄水場排水管布設工事	a		②	ア 適切な保守作業の実施	a	
	ウ 第二浄水場天日乾燥床増設工事	a			イ 適切な水質管理の実施	a	
	エ 金ヶ崎ろ過施設(第二期) 高圧受電設備更新等	a			ウ トラブル発生時の対応	a	
	オ その他修繕・改良工事等	a		③	新技術導入の検討	a	

【特記事項】

① 施設の強靱化及び再規模災害への備え

令和4年度に計画している工事は、概ね計画どおり進んでいます。

[第二浄水場]

- ・配水管布設(1-3工区)工事 ⇒ 施工中
- ・天日乾燥床増設工事 ⇒ 契約前準備(R4.6.29開札)

[北上ろ過]

- ・導水管本復旧工事 ⇒ R3.11.18契約(R3繰越工事)、R4.5.31完成

[金ヶ崎ろ過]

- ・第二期高圧受電盤設備更新等工事 ⇒ 施工中(R3~R4)機器製作中

② 適切な保守管理の実施

- 1) 維持管理要領に基づき計画的な点検及び作業を実施しています。
- 2) 令和2年度に発生した北上ろ過施設の漏水事故について、令和4年5月に本復旧工事が完了しました。

③ 新技術の導入

特定課題検討グループにおいて、工水事業への新技術の導入展開について検討しています。

(3) 主な課題と今後の対応

① 施設の強靱化及び大規模災害への備え

各工事・委託が計画どおりに完了するよう、適切な工程管理を徹底します。

② 適切な保守管理の実施

維持管理要領に基づく各施設の点検や作業等を安全かつ計画的に実施します。また、改修工事等の実績を踏まえ、必要に応じて維持管理要領の見直しを進めます(年度末を想定)。

③ 新技術の活用

ドローンを活用した建設工事現場の写真撮影や建築設備の年次点検を引き続き実施します。また、特定課題検討グループにおいて、新技術の導入や今後の動向について情報収集等を行います。

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (2)新たな水需要への対応

(1) 経営目標、参考指標の状況

設定なし

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容	進捗	成果
施設・設備の整備	a	△

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

新北上浄水場の整備については、**取水口建設事業で若干の工程遅れ**があるものの**概ね計画どおり**進んでいます。

[浄水場建設事業] (工期: R1~R4)

- ・土木(第一期)工事 ⇒ 現地施工中
- ・建築工事 ⇒ 現地施工中
- ・建築工事監理業務委託 ⇒ 業務執行中
- ・機械設備(第一期)工事 ⇒ 機器据付中
- ・電気設備(第一期)工事 ⇒ 機器据付中

[取水口建設事業] (工期: R2~R4)

- ・取水口建設土木工事 ⇒ 現地施工中
- ・取水ポンプ棟建築工事 ⇒ 現地施工中 (R3年度出来高繰越有り)
- ・建築工事監理業務委託 ⇒ 業務執行中
- ・取水口建設機械設備工事 ⇒ 機器製作中、一部機器据付
- ・取水口建設電気設備工事 ⇒ 機器製作中 (R3年度出来高繰越有り)

[配水管布設] (工期: R2~R4)

- ・配水管布設工事(第2工区) ⇒ (繰越工事) R4.6.30 完成
- ・配水管布設工事(第1工区) ⇒ 現地施工中
- ・配水管布設工事(第3工区) ⇒ 現地施工中

(3) 主な課題と今後の対応

- 1) **新北上浄水場及び取水口建設工事**については、**令和5年4月からの一部給水開始**に向け、施設・設備等の整備に影響が生じないよう、引き続き、各施工業者間の工程を随時調整するなど、**全体工程の管理を徹底**します。
- 2) **配水管布設工事**については、施工個所の交通規制により車両の往来に影響があることから、**周辺企業の理解と協力を得られるよう調整**し、今年度内の完成に向けて工事を進めます。
- 3) 繰越工事については、予定通り完成できるよう施工管理を徹底します。
- 4) 令和5年4月以降の新北上浄水場の**維持管理体制**及び**新北上浄水場第2期建設工事の着工時期**について、課題を整理し速やかに**方針を決定**します。

令和4年度 経営評価総括表 [第1四半期]

2 工業用水道事業

(取組の方向性) (3)③安定的な事業運営

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(%)	実績(%)	達成度
経常収支比率	109	※年度末に評価	

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上, B: 80%以上 100%未満, C: 60%以上 80%未満, D: 60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

なし

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 業務の効率化	a	/	②	ア 契約水量の維持・増量に向けた取組	a	/
	イ 経費の平準化	a	/		イ 改良費に対する補助金や公営企業債の要望	a	/
	ウ 効率的な経営のあり方についての検討	a	/				

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のものとC判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 経営の効率化

- 1) 複数施設の委託業務等を合冊発注し、業務の効率化と経費節減を図っています。
- 2) 長期的な収支を考慮した年度別事業実施計画の見直し作業を進めながら、工事・委託等の経費の平準化を図っています。
- 3) 効率的な経営の在り方についての検討に関しては、**ダウンサイジングによる経費の縮減**に向けて、**金ヶ崎ろ過施設(第二期)電気設備の更新や配水池の改良設計**を進めています。

② 適切な収入の確保

- 1) 契約水量の維持・増量に向けた取組として、**4月に11社のユーザー訪問**を実施し、使用水量の動向などについて意見交換を行いました。
- 2) 改良費に対する補助金や公営企業債の要望として、6月17日に政府予算要望を行いました。
- 3) 国庫補助金を活用して、第二浄水場の一部既設配水管の更新を行っています。

(3) 主な課題と今後の対応

① 経営の効率化

**金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジング**は、電気設備の更新や配水池改良の設計業務等を通じて、**より効率的な施設整備を進めていきます。**

② 適切な収入の確保

- 1) 新型コロナウイルス感染症の影響など、**ユーザー企業の実使用水量の動向を注視**するとともに、次回予定している決算概要説明に係るユーザー訪問では、オンラインミーティングの活用も検討します。
- 2) 改良費に対する補助金や公営企業債に関する国の動向等を注視しながら、引き続き、適時適切な国への要望等を行っていきます。

令和4年度 経営評価総括表 [第1四半期]

3 組織力向上と地域貢献

(取組の方向性) (1)組織力向上

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標		1/4	2/4	3/4	4/4	年間	達成度
第二種電気主任技術者 新規資格取得者数(人) (※計画期間(R2~R5)累計)	計画	4				4	/
	実績	6					
第一種ダム水路主任技術者 新規資格取得者数(人) (※計画期間(R2~R5)累計)	計画	1				1	/
	実績	1					

参考指標	参考値	1/4	2/4	3/4	4/4	年間
[参考]第二種電気主任技術者有資格者数(人)	6	6				
[参考]第一種ダム水路主任技術者有資格者数(人)	6	8				
[参考]専門研修受講者数(人)	412	41				
[参考]職員満足度調査における満足度(%)	79					
[参考]企業局施設見学者数(人)	1,574					

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

- 1) 第二種電気主任技術者免状は、令和3年度試験に合格した1名が交付を受けました。
- 2) 第一種ダム水路主任技術者の資格取得に向け、県土整備部のダム点検に同行し経験を積み取り組みを進めています。

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 職員採用・人事交流と組織体制の整備	a	/	③	ア ワーク・ライフ・バランスの確保	a	/
	イ 有資格者の計画的な確保	a	/		イ 職場の働きやすさ向上	a	/
	ウ 人材育成・技術継承	a	/		ウ 安全衛生対策の充実	a	/
	エ 経営力の強化	a	/	④	ア 広報活動	a	/
②	ア 災害への対応体制の確立	a	/		イ 企業局施設の見学者の受入れ、施設見学会の開催	a	/
	イ リスクマネジメント	a	/				

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のもの C判定のものが両方ある場合

C: 目標とした成果を達成できなかった [年度末に判定]

【特記事項】

① 人材の確保・育成

- 1) リクルート活動の一環として、県内の学校に企業局職員を講師として派遣し、業務説明を行いました。
- 2) 新採用職員研修は、所属にかかわらず共通する事項を研修項目として取り込み5日間実施しました。
- 3) 新任職員研修のうち座学研修はこれまでの集合形式ではなく、あらかじめ収録した講義動画を各自が一定期間内に視聴する方法を試行し、概ね好評でした。

② 危機管理対策、リスクマネジメント

- 1) 岩手県建設業協会と締結している「災害時における県営発電施設の応急対策業務に関する協定」について、対象とされていなかった3発電所を追記しました。
- 2) 地震による被害を想定した災害対応訓練(被害想定、復旧計画概略策定、災害対応模擬訓練、情報伝達訓練)を実施しました。

**③ 職場環境の充実**

- 1) 4月から電子決裁・文書管理システムの運用を開始したほか、ペーパーレス会議の拡大、メンタルヘルス巡回相談実施に向けた検討など、企業局働き方改革ロードマップに基づく各取組を進め、効率的な業務遂行や働きやすい職場環境の実現に向けた取組を進めています。

**④ 企業局事業の理解促進**

- 1) 企業局施設カードの配布及び施設見学について、新型コロナウイルス感染症感染の防止対策を徹底したうえで、受け入れを行っています。
- 2) 施設見学会は、一定の制限を設けたうえで開催を予定しておりましたが、全国的な新型コロナウイルス感染症の急拡大を考慮し、順延することとしました。

**(3) 主な課題と今後の対応**

**① 人材の確保・育成**

- 1) 職員採用については、積極的なリクルート活動により人材確保に努めるとともに、業務を円滑に推進するため、必要な組織体制の整備や適正な人員配置に引き続き努めます。
- 2) 第二種電気主任技術者や第一種ダム水路主任技術者の資格取得に向けて、局内の支援・奨励による取得者数の更なる確保・育成を目指します。
- 3) 「企業局職員育成ビジョン」に基づき、専門性と経営感覚を備えた意識・能力の高い職員養成に取り組んでいきます。

**② 危機管理対策、リスクマネジメントの取組**

- 1) マニュアルや協定など、今後も必要に応じ見直しを行います。

**③ 職場環境の充実**

- 1) 「企業局働き方改革ロードマップ」を基に、ワーク・ライフ・バランスの確保や働きやすい職場環境の実現に向けた取組を引き続き進めていきます。
- 2) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、引き続き、基本的な感染対策の徹底に努めます。

**④ 企業局事業の理解促進**

引き続き新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつ、より効果的な企業局事業の理解促進につなげられるよう、実施手法について検討します。



令和4年度 経営評価総括表 [第1四半期]

3 組織力向上と地域貢献

(取組の方向性) (2)地域貢献

(1) 経営目標、参考指標の状況

経営目標	目標(t以上/年)	実績(t以上/年)	達成度
地域貢献による温室効果ガス削減量	120	※年度末に評価	

参考指標	参考値	1/4	2/4	上半期	3/4	4/4	年間
[参考]クリーンエネルギー導入支援事業の支援金額(千円)	23,000	0					
[参考]クリーンエネルギー導入支援事業の支援件数(件/年)	9	0					
[参考]植樹活動支援事業の支援金額(千円)	2,300	978					
[参考]植樹活動支援事業の支援件数(件/年)	13	6					

注) 達成度: 実績値 / 目標値 × 100 A: 100%以上、B: 80%以上 100%未満、C: 60%以上 80%未満、D: 60%未満 [年度末に判定]

【特記事項】

なし

(2) 取組内容の進捗状況

取組内容		進捗	成果	取組内容		進捗	成果
①	ア 小売電気事業者と連携した取組	a	/	②	ア クリーンエネルギー導入促進事業(市町村等向け補助事業)	a	/
	イ 一般会計への繰出し	a	/		イ 環境保全・クリーンエネルギー導入促進事業向けの一般会計への繰出し	a	/
					ウ 市町村等が行う植樹活動への支援	a	/
				③	水素利活用への取組	a	/

注) 進捗状況 a: 取組が完了できる見込み b: 取組の完了や目標とした成果の達成に向けて課題がある c: 取組完了が困難な見込み

注) 成果状況 A: 目標とした成果を達成した B: (複数の取組目標を設定している場合) A判定のものとC判定のものが両方ある場合  
C: 目標とした成果を達成できなかった

【特記事項】

① 電力供給を通じた地域貢献

1) 東北電力株式会社と連携して取り組んでいるいわて復興パワーによる電気料金の割引は、6月末時点で適合事業者数は497件となっています。また、いわて復興パワー水力プレミアムによるCO2フリー電気の供給企業等は6月末時点で23件となっています。

さらに、いわて復興パワー及びいわて復興パワー水力プレミアムのさらなる普及に向け、**東北電力株と適用要件の緩和に向けた協議**を行いました。(5/26、6/24実施)

2) 久慈地域エネルギー株式会社と連携して取り組んでいるアマリングリーンでんきによる地産地消CO2フリー電気の供給企業等は、6月末時点で36件となっています。

② 地球温暖化防止に向けた取組

1) **クリーンエネルギー導入支援事業**については、市町村が再エネ設備または省エネ設備を導入する**14事業**に対し交付決定を行いました。

2) **植樹活動支援事業**では、17件の内示を行い、6月末時点で**6件**の事業を支援しました。うち**2件**については**企業局職員も参加**して植樹活動を行いました。

③ 水素利活用推進プロジェクト

「環境保全・クリーンエネルギー導入促進積立金」を活用し、令和4年度「水素利活用による再生可能エネルギー推進事業」に財政支援を行っています。

(3) 主な課題と今後の対応

① 電力供給を通じた地域貢献

いわて復興パワー及びいわて復興パワー水力プレミアムについて、企業局から供給する電力量を上限として運用していますが、供給可能量に余裕があるため、関係部局と連携しながらPRを行い、いわて復興パワーの活用促進を図ってまいります。

② 地球温暖化防止に向けた取組

クリーンエネルギー導入支援事業について、交付決定した事業の実施状況等を適切に管理します。

③ 水素利活用推進プロジェクト

県の水素利活用に関する検討会議に参加し取組の方向性や今後の動向に関する情報収集を行いつつ、引き続き「環境保全・クリーンエネルギー導入促進積立金」を活用した財政支援に取り組みます。

【補足説明資料】

1 電気事業

① 供給電力量電源別内訳(百万 kWh)

		1/4	2/4	3/4	4/4	年間
水力	計画	207	116	95	119	537
	実績	202				
	達成率	97%				
風力	計画	14	9	16	17	56
	実績	16				
	達成率	111%				
太陽光	計画	0.47	0.41	0.24	0.19	1.30
	実績	0.54				
	達成率	115%				
合計	計画	222	125	111	136	594
	実績	218				
	達成率	98%				

各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、表中の数字で計算した場合、合計や達成率が一致しない場合があります。

② 気象データ(%)

	1/4	2/4	3/4	4/4	年間
出水率	97%				
降水量平年比	94%				
平均風速平年比	99%				
日射量平年比	106%				

③ 供給停止\*件数の過去平均と原因別比較(件)

	H22-H30 平均	R2	R3	R4	R5
人的ミス等	1	1	2	(0)	
設備不良等	2	4	2	(2)	
合計	3	5	4	(2)	

\*供給停止：人的ミスや設備不良など、企業局の責による理由で、計画した電力の供給ができないこと

④ 発電所建屋等の耐震化工事(箇所)

	R1 まで	R2	R3	R4	R5
計画	—	2	2	—	—
実績	16	2	1	(1)	
達成率	80%	90	95	(100)	

⑤ 電力土木施設の耐震診断(箇所)

	R1 まで	R2	R3	R4	R5
計画	—	2	5	3	2
実績	25	2	5	(2)	
達成率	68%	73	86	(92)	

令和4年度 経営評価総括表 [第1四半期]

⑥ 電力料収入(百万円、税抜)

		1/4	2/4	3/4	4/4	年間
水力	予算	1,615	1,472	1,374	1,385	5,846
	実績	1,604				
	達成率	100%				
風力	予算	319	199	354	359	1,232
	実績	331				
	達成率	104%				
太陽光	予算	17	14	10	10	51
	実績	19				
	達成率	113%				
合計	予算	1,951	1,686	1,738	1,754	7,129
	実績	1,965				
	達成率	101%				

各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、表中の数字で計算した場合、合計や達成率が一致しない場合があります。

⑦ 収入・支出の状況(百万円、税抜)

	経営計画	予算額	決算額
経常収益	6,937	7,405	
経常費用	5,482	6,142	
経常利益	1,455	1,263	

(経常収益 = 電気事業収益 - 特別利益)  
 (経常費用 = 電気事業費用 - 特別損失 - 予備費)  
 (経常利益 = 経常収益 - 経常費用)

2 工業用水道事業

① 実使用水量(千m<sup>3</sup>、%)

		1/4	2/4	3/4	4/4	年間
計画		2,357	2,384	2,379	2,396	9,516
実績		2,357				
達成率		100.0				

② 料金収入(百万円、税抜)

		1/4	2/4	3/4	4/4	年間
一般給水	予算	157	159	159	159	634
	実績	157				
	達成率	100.0				
ろ過給水	予算	52	53	51	52	208
	実績	52				
	達成率	100.0				
合計	予算	209	212	210	211	842
	実績	209				
	達成率	100.0				

③ 収入・支出の状況(百万円、税抜)

	経営計画	予算額	決算額
経常収益	985	887	
経常費用	901	884	
経常利益	84	3	

(経常収益 = 工業用水道事業収益 - 特別利益)  
 (経常費用 = 工業用水道事業費用 - 特別損失 - 予備費)  
 (経常利益 = 経常収益 - 経常費用)

# 令和3年度岩手県電気事業会計決算概要

参考資料 1

- 供給電力量は、水力発電の出水率の減等により、前年度比16.4%減の5億6,277万kWh余となり、電力料収入は、前年度比2.0%減の66億7千4百万円余となった。
- 経常収益は、前年度比1.7%減の69億8千7百万円余となり、経常費用は、固定資産除却費の増等により前年度比9.0%増の53億4百万円余となった。
- この結果、経常利益は、前年度比24.9%減の16億8千3百万円余となり、特別損失を差し引いた純利益は、前年度比30.4%減の15億6千万円余となった。

## 1 令和3年度損益

(税抜、単位：千円)

科目	年度	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	比較	
				増減額 (A-B)	増減率 (A-B)/B
経常収益		6,987,761	7,108,153	△120,392	△1.7%
経常費用		5,304,433	4,865,610	438,823	9.0%
<b>経常利益</b>		<b>1,683,328</b>	<b>2,242,543</b>	<b>△559,215</b>	<b>△24.9%</b>
特別利益		0	0	0	—
特別損失		※122,397	0	122,397	皆増
<b>純利益</b>		<b>1,560,931</b>	<b>2,242,543</b>	<b>△681,612</b>	<b>△30.4%</b>

※ 槻木平地点開発中止に伴い、特別損失（建設準備勘定の精算）を計上

## 2 電力の供給状況

水力発電における出水率が低調であったことに加え、風力発電における稲庭高原風力発電所の再開発に伴う稼働停止等の影響により供給電力量は減となった。  
(単位：千kWh/%)

区分	年度	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	比較	
				増減量 (A-B)	増減率 (A-B)/B
水力(17発電所)		506,779	614,070	△107,291	△17.5
風力(2発電所)		54,535	58,059	△3,524	△6.1
太陽光(1発電所)		1,464	1,426	38	2.7
合計		562,778	673,555	△110,777	△16.4

## 3 経常収益の状況

水力発電については、出水率が低調であったこと等により電力料収入が減(△6千3百万円余)となり、風力発電についても稲庭高原風力発電所の再開発事業に伴う稼働停止等により電力料収入が減(△7千7百万円余)となったことから、前年度比1億2千万円余(1.7%)減の69億8千7百万円余となった。

## 4 経常費用の状況

稲庭高原風力発電所の再開発事業に伴う既存施設撤去費用及び除却損の増等により、前年度比4億3千8百万円余(9.0%)増の53億4百万円余となった。

## 5 経常利益、純利益の状況

以上の結果、経常利益は、前年度比5億5千9百万円余(24.9%)減の16億8千3百万円余、純利益は、前年度比6億8千1百万円余(30.4%)減の15億6千万円余となった。

なお、経常利益の経営目標に対する実績は次のとおりとなった。

区分	経営目標	実績	増減	備考
経常収支比率	124%	131.7%	7.7ポイント	経営目標を達成

## 令和3年度岩手県工業用水道事業会計決算概要

- 工業用水供給量は、基本使用水量、実使用水量ともに増加し、料金収入は、前年度比8.5%増の8億1千万円余となった。
- 経常収益は、料金収入が増となったことにより前年度比8.0%増の8億5千4百万円余となり、経常費用は、固定資産除却費や修繕費の増等により前年度比3.2%増の7億6千4百万円余となった。
- この結果、経常利益は、前年度比78.0%増の9千万円余となり、純利益は、前年度比47.1%増の8千8百万円余となった。

### 1 令和3年度損益

(税抜、単位：千円)

科目	年度 令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	比較	
			増減額 (A-B)	増減率 (A-B) / B
経常収益	854,387	791,018	63,369	8.0%
経常費用	764,272	740,392	23,880	3.2%
<b>経常利益</b>	<b>90,115</b>	<b>50,626</b>	<b>39,489</b>	<b>78.0%</b>
特別利益	※1 16,021	※1 9,309	6,712	72.1%
特別損失	※2 17,991	0	17,991	皆増
<b>純利益</b>	<b>88,145</b>	<b>59,935</b>	<b>28,210</b>	<b>47.1%</b>

※1 退職給付引当金残高を取崩したことに伴い、特別利益(退職給付引当金戻入)を計上

※2 建設仮勘定及び建設準備勘定償却費に係る会計処理に伴う特別損失を計上

### 2 工業用水の供給状況

ユーザー企業の契約水量の増等により、基本使用水量、実使用水量ともに増となった。

(単位：千m<sup>3</sup>/年)

区分	年度 令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	比較	
			増減量 (A-B)	増減率 (A-B) / B
基本使用水量	13,306	12,230	1,076	8.8%
実使用水量	8,858	7,316	1,542	21.1%
うち超過水量	185	55	130	236.4%

<1 m<sup>3</sup>当たりの給水単価> (平成23年4月1日から)

税抜

料金種別	工業用水料金の額	ろ過料金の額 <sup>※4</sup>
基本使用水量(基本料金 <sup>※1</sup> )	42円	35円
使用水量(使用料金 <sup>※2</sup> )	3円	3円
超過水量(超過料金 <sup>※3</sup> )	90円	—

※1 基本料金は、使用者が申し込んだ水量により算定する料金のこと(責任水量制)。

※2 使用料金は、実際に使用した水量に応じて算定する料金のこと(従量料金制)。

※3 超過料金は、基本使用水量を超えて使用した水量に応じて算定する料金のこと。

※4 ろ過料金は、ろ過水を使用する場合、工業用水料金に加算するもの。

### 3 経常収益の状況

基本使用水量及び実使用水量の増により料金収入が増(6千3百万円余)となったことなどにより、前年度比6千3百万円余(8.0%)増の8億5千4百万円余となった。

### 4 経常費用の状況

固定資産除却費や修繕費の増等により、前年度比2千3百万円余(3.2%)増の7億6千4百万円余となった。

### 5 経常利益、純利益の状況

以上の結果、経常利益は、前年度比3千9百万円余(78.0%)増の9千万円余となり、純利益は、前年度比2千8百万円余(47.1%)増の8千8百万円余となった。

なお、経常利益の経営目標に対する実績は次のとおりとなった。

区分	経営目標	実績	増減	備考
経常収支比率	107%	111.8%	4.8ポイント	経営目標を達成

## 令和3年度決算概要（予算との比較）

### 1 電気事業会計

				(単位：千円) 税抜		
科目	年度	令和3年度当初予算	令和3年度最終予算 (A)	令和3年度決算 (B)	比 較	
					増減額 (B - A)	増減率 (B - A) / A
経常収益		7,040,470	6,898,279	6,987,761	89,482	1.3%
経常費用		5,911,952	5,531,911	5,304,433	△ 227,478	△ 4.1%
<b>経常利益</b>		<b>1,128,518</b>	<b>1,366,368</b>	<b>1,683,328</b>	<b>316,960</b>	<b>23.2%</b>
特別利益		0	0	0	0	—
特別損失		0	122,397	122,397	0	0.0%
予備費		4,546	4,546	0	△ 4,546	皆減
<b>純利益</b>		<b>1,123,972</b>	<b>1,239,425</b>	<b>1,560,931</b>	<b>321,506</b>	<b>25.9%</b>

主な増減理由  
**【収益】** 高森高原風力発電所の風況が好調だったことによる風力発電電力料収入の増  
**【費用】** 修繕費、委託料等の減

### 2 工業用水道事業会計

				(単位：千円) 税抜		
科目	年度	令和3年度当初予算	令和3年度最終予算 (A)	令和3年度決算 (B)	比 較	
					増減額 (B - A)	増減率 (B - A) / A
経常収益		846,353	844,081	854,387	10,306	1.2%
経常費用		842,090	795,761	764,272	△ 31,489	△ 4.0%
<b>経常利益</b>		<b>4,263</b>	<b>48,320</b>	<b>90,115</b>	<b>41,795</b>	<b>86.5%</b>
特別利益		0	16,021	16,021	0	0.0%
特別損失		0	17,991	17,991	0	0.0%
予備費		455	455	0	△ 455	皆減
<b>純利益</b>		<b>3,808</b>	<b>45,895</b>	<b>88,145</b>	<b>42,250</b>	<b>92.1%</b>

主な増減理由  
**【収益】** 基本使用水量及び実使用水量の増  
**【費用】** 修繕費、委託料、固定資産除却費等の減





分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	担当課
1	電気事業			
	(1)「運転年数100年」を実現するための基盤づくり			
	① 施設の強靱化及び大規模災害への備え			
	ア 年度別事業実施計画に基づく修繕・改良の実施	【仙人】天井クレーン分解点検補修及び改良工事の完成 【仙人】水車発電機分解点検補修等工事(R3~R5)の契約締結 【北ノ又】33kVほかキュービクル更新工事(R3~R5)の契約締結 【北ノ又】配電盤更新工事(R3~R5)の契約締結 【北二】33kV連絡線更新工事(R3~R5)の契約締結 【松川】水車発電機分解点検補修等工事(R3~R4)の契約締結 【総管】大物倉庫他建替工事(R3~R4)の実施 (建築基準法手続き、工事契約締結、現地工事着手) 【県南】増築等工事の完成	1	電気 県南  電気 総管  土木 総管 土木 県南
	イ 電力土木施設等の長寿命化対策	【岩一】劣化度調査の完了 【岩二】劣化度調査の完了 【御所】劣化度調査の完了 【柏台】劣化度調査の完了 ・土木担当職員の技術向上を目的とした研修会の開催 ・長寿命化を目的とした電力土木施設の点検周期の見直し	2	土木 総管  土木
	ウ-1 耐震化計画の推進（発電所建屋等の耐震化工事）	【御所】耐震化工事の完成 【仙人】耐震化工事の契約締結、仮設足場の設置	3	土木 総管 土木 県南
	ウ-2 耐震化計画の推進（電力土木施設の耐震診断）	・4施設（岩洞第一水圧鉄管、大川水路橋、軽松沢鉄管橋、軽松沢川排砂門ピア）の耐震診断の完了	4	土木 総管
	② 適切な保守管理の実施			
	ア 適切な保守作業の実施	・電気主任技術者による保安指導の実施（保安パトロール等） ・高森高原風力発電所 環境モニタリング事後調査業務委託の完了 ・本年度実施予定の工事等に係る河川法手続きの申請許可 ・保安規程等に基づく計画的な保守作業の実施 (点検手入れ計画表の点検項目を全て実施)	5	電気  土木 総管 県南
	イ 風水害への備え	・自然災害の危険箇所調査の実施（全施設） ・台風災害を想定した訓練等の実施	6	土木 総管
	ウ マニュアル等の見直し	・施設更新等に伴う保守要則の改定	7	電気
	③ 新技術の活用			
	ア 新技術の導入	・岩洞第一、四十四田、柏台発電所でのIoT機器実証試験による新技術導入に係る調査・検討 ・他事業者における導入事例の調査	8	電気 総管 土木
	イ 発電所遠方監視制御装置のIP化	・施設総合管理所 集中監視制御システム改修工事（築川発電所新設）の完成	9	電気 総管
	④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携			
	ア 農業用水の安定供給に向けた機能維持	・岩洞ダム共有施設の改良工事（国営岩手山麓農業水利事業）の推進、事業費の適切な管理 ・胆沢第二発電所共有施設の改修に係る調査設計の完了 ・農業用水の安定供給（長期供給支障が無いこと） ・若柳堰堤ゲート自動制御装置更新工事の契約締結、操作卓完成	10	土木 総管 土木 総管 県南
	イ 河川管理者等との連携	・北上川上流ダム再生事業に伴う発電所への影響確認	11	土木
	ウ 発電所共同運転事業者との連携	・仙人発電所の構内受電系統の見直しに向けた共同運転事業者と協議・調整 ・和賀川河川環境保全事業の実施 ・電源開発(株)、東北自然エネルギー(株)との共有施設の点検及び工事に関する調整	12	電気 県南 土木 県南

令和3年度 取組内容一覧表

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	担当課
(2) 再生可能エネルギーの維持拡大				
① 新規開発の推進				
ア	築川発電所の建設	・築川発電所 水車発電機等製作据付工事の完成、運転開始	13	電気 土木 総管
		・FIT売電契約の締結		電気
		・使用前安全管理審査ほか保安手続の完了		総管
イ	新規開発に向けた調査等	・槻木平地点（真湯測水所）撤去工事の完成 ・新規開発地点の現地状況の確認	14	土木
② 再開発の推進				
ア	胆沢第二発電所	・代替放流設備設置工事の契約締結、現地工事着手 ・水車発電機基礎構築設計業務の完了 ・発電所建屋改修設計業務の完了 ・系統連系に係る接続合意（連系契約の成立） ・固定価格買取制度（FIT）の事業計画認定	15	再開発
イ	入畑発電所	・水車発電機基礎構築設計業務の完了 ・系統連系に係る接続合意（連系契約の成立） ・固定価格買取制度（FIT）の事業計画認定	16	再開発
ウ	稲庭高原風力発電所	・FIT売電契約の締結	17	電気
		・新風車に係る機器据付、試験調整の完了、営業運転の開始		再開発 総管
		・既設風車及び基礎に係る撤去の完了 ・電気事業法に基づく工事計画届出事務の完了		再開発
エ	再開発の検討	・既設発電所の再開発検討業務の完了	18	電気 土木
(3) 経営環境の変化に対応した安定経営				
① 適正な収入の確保				
ア	適正な売電価格の確保	・非FIT水力発電所の次期売電契約の締結 ・令和7年度容量確保契約の締結	19	電気
イ-1	供給電力量の向上に向けた取組（点検周期等見直し）	・複数発電所の故障発生時における対応優先順位の検討（具体的な課題の抽出）	20	電気
イ-2	供給電力量の向上に向けた取組（高効率機器の導入）	・仙人発電所 1号ランナ新製工事の契約締結	21	県南
ウ	地域新電力との協働・連携	・現売電契約による協働・連携の実施 （経営状況、県内供給状況、プロポーザル提案事項の確認）	22	電気
		・次期売電契約の公募条件の決定 （地域新電力等との協働・連携に係る提案評価）		電気 企画
② 経営の効率化				
ア	業務の効率化	・技術担当課長会議、保守担当者会議等の実施による技術的課題の解決や情報共有	23	電気 土木
		・年間作業停止計画の策定 （関係機関との調整による発電所の効率的な運用）		電気 総管
イ	経費の平準化	・長期的な収支を考慮した10か年計画の改定	24	電気 土木
③ 電力の新たな付加価値の検討				
ア	電力の新たな付加価値に関する情報収集等	・情報収集、調査等の実施・共有 （他県等の状況把握など）	25	電気 企画

令和3年度 取組内容一覧表

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	担当課
2	工業用水道事業			
	(1) 良質な工業用水の安定供給			
	① 施設の強靱化及び大規模災害への備え			
	ア 第三浄水場加圧脱有機機更新	・ [機械設備] 脱有機機製作・据付、補機類据付工事の完成 ・ [電気設備] 制御操作盤・CC盤等製作据付工事の完成	26	事業 県南
	イ 第二浄水場配水管布設（1-2工区）工事	・ 金ヶ崎工業団地内配水管更新工事の完成	27	県南
	ウ 第二浄水場天日乾燥床増設（土木）工事 ※ 建築物はR4年度に整備予定	・ 造成及び基礎杭工事の完成 ・ 農業用水路付替工事の完成	28	事業 県南
	エ 金ヶ崎ろ過施設（第二期）高圧受電設備等更新	・ 高圧受電盤・二回線受電切替盤ほか機器製作	29	県南
	オ 第一浄水場・第三浄水場配水管布設	・ 第一浄水場配水管布設工事の完成 ・ 第三浄水場配水管盛替え工事の完成	29-1	事業 県南
	カ 北上ろ過施設導水管本復旧工事	・ 工事の完成	29-2	県南
	② 適切な保守管理の実施			
	ア 適切な保守作業の実施	・ 工業用水道施設維持管理要領の改定 ・ 工業用水道施設維持管理要領に基づく各施設の計画的な点検及び作業等の実施（点検項目を全て実施）	30	事業 県南
	イ 適切な水質管理の実施	・ 工業用水道施設維持管理要領に基づく各施設の計画的な水質計器等の保守管理の実施（点検項目を全て実施） ・ 水質異常に対する訓練等の実施	31	県南
	ウ トラブル発生時の対応	・ トラブル対応訓練の実施	32	県南
	③ 新技術の活用			
	ア 新技術導入の検討	・ 先進事例等の情報収集・共有	33	県南
	(2) 新たな水需要への対応			
	水需要に応じた施設の整備			
	施設・設備の整備	・ 新北上浄水場及び取水口建設工事の進捗管理 ・ 配水管布設工事の施工に関するユーザー及び周辺企業との調整	34	事業 県南
	(3) 安定的な事業運営			
	① 経営の効率化			
	ア 業務の効率化	・ 複数施設の委託業務の合冊発注等による業務の効率化の実施	35	県南
	イ 経費の平準化	・ 長期的な収支を考慮した年度別事業実施計画の改定	36	事業 県南
	ウ 効率的な経営のあり方についての検討	・ 水需要の見直しに応じた施設規模の最適化（ダウンスizing）の検討	37	事業 県南
	② 適切な収入の確保			
	ア 契約水量の維持・増量に向けた取組	・ ユーザー企業への訪問 ・ 新規契約・増量企業等の給水手続きの迅速な対応	38	事業 県南
	イ 改良費に対する補助金や公営企業債の要望	・ 国庫補助金や公営企業債枠の拡大を国へ要望 ・ 企業債の借入等	39	事業 子経

令和3年度 取組内容一覧表

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	担当課
3	組織力向上と地域貢献			
	(1) 組織力向上			
	① 人材の確保・育成			
	ア 職員採用・人事交流と組織体制の整備	・インターンシップや業務説明等の実施、知事部局等との人事交流により必要な人材を確保 ・令和4年度の業務運営に最適な組織体制を確保	40	管理
	イ 有資格者の計画的な確保・育成	・資格取得の支援・奨励により資格取得者の確保・養成 ・知事部局等との人事交流を継続し人材を確保 ・電験試験等の情報掲載により資格取得を支援	41	管理 総管
	ウ 人材育成・技術継承	・専門研修実施計画に基づく職場内研修やOJTの実施 ・外部研修受講の奨励	42	管理
	エ 経営力の強化	・経営に関する研修、マネジメント支援プログラムの実施	43	管理
	② 危機管理対策、リスクマネジメントの取組			
	ア 災害への対応体制の確立	・災害応急対応訓練の実施 ・集中監視制御システム監視卓増設工事の完成 (新型コロナウイルス感染症の感染防止対応)	44	総管 総管
	イ リスクマネジメント	・重要なリスクや対応状況などを経営計画推進会議に報告し、局内で情報共有	45	企画
	③ 職場環境の充実			
	ア ワークライフバランスの確保	・働き方改革に係る取組の実施(テレワーク環境の整備、ICT等による業務効率化、職員の意識啓発等) ・局長等と職員との意見交換会の実施(年7回) ・職員満足度調査の実施	46	管理
	イ 職場の働きやすさ向上	(46と同じ) ・施設総合管理所建屋改修計画の方針決定 ・発電所等への女性用トイレの整備(御所、北ノ又、柏台) ・【総管】大物倉庫他建替工事(R3~R4)の実施(1の再掲) (建築基準法手続き、工事契約締結、現地工事着手)	47	管理 土木 総管
	ウ 安全衛生対策の充実	・夏季、冬季安全パトロールの実施 ・労働災害無事故の継続 ・新型コロナウイルス感染症感染防止対策の実施	48	管理
	④ 企業局事業の理解促進			
	ア 広報活動(PRグッズ配布、『みずりん・みどりん』によるPR)	・『みずりん・みどりんお知らせ隊』によるイベントへの参加及びPRグッズの作成・配布などを通じた積極的な情報発信の実施	49	企画
	イ 企業局施設での見学者の受入れ、施設見学会の開催	・新型コロナウイルス感染症への感染状況を考慮し、施設見学会の実施可否を判断(実施する際は実施方法の検討) ・随時の見学者受入れの実施	50	企画 企画 総管 県南
	(2) 地域貢献			
	① 電力供給を通じた地域貢献			
	ア 小売電気事業者と連携した取組	・いわて復興パワー(電気料金割引)の対象拡大の検討 ・小売電気事業者及び関係部局と連携したPRの実施 ・小売電気事業者と連携したCO2フリーの電力の県内企業等への供給	51	企画
	イ 一般会計への繰出し	・震災復興及びふるさと振興に寄与に向けた、一般会計への繰出しによる施策の財政的な支援の実施	52	企画
	② 地球温暖化防止に向けた取組			
	ア クリーンエネルギー導入促進事業(市町村向け補助事業)	・県内のクリーンエネルギーの導入促進及び普及啓発に向けた市町村等に対する補助金の交付(9件)	53	企画
	イ 環境保全・クリーンエネルギー導入促進事業向けの一般会計への繰出し	・県内の環境保全やクリーンエネルギーの導入促進に向けた一般会計への繰出しによる策の財政的な支援の実施	54	企画
	ウ 市町村等が行う植樹活動への支援	・水源涵養の促進及び環境保全活動を実施する市町村等に対する苗木の提供や職員参加による支援の実施(13か所)	55	企画
	③ 水素利活用推進プロジェクト			
	ア 水素利活用への取組	・県の水素利活用に関する検討会議への参加及び取組の方向性や今後の動向に関する情報収集の実施	56	企画

令和4年度 取組内容一覧表

参考資料3

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	R4本庁とりまとめ
1	電気事業			
	(1)「運転年数100年」を実現するための基盤づくり			
	① 施設の強靱化及び大規模災害への備え			
	ア 年度別事業実施計画に基づく修繕・改良の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>【仙人】水車発電機分解点検補修・大規模改良工事（R3～R5）の進捗管理（2号機の完成）</li> <li>【松川】水車発電機分解点検補修等工事(R4～R6)の契約締結</li> <li>【北ノ又】配電盤及び33kVキュービクルほか更新工事(R3～R5)の進捗管理（機器製作の開始）</li> <li>【北ノ又第二】配電盤ほか更新工事(R4～R6)の契約締結</li> <li>【北ノ又第二】33kV連絡線更新工事（R3～R5）の進捗管理（ケーブル製作の開始）</li> <li>【施設総合管理所】大物倉庫他建替工事（R3～R4）の完成</li> <li>【県南施設管理所】事務所増築等工事（R3～R4）の完成</li> </ul>	1	電気
	イ 電力土木施設等の長寿命化対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>【仙人】コンクリート構造物補修設計業務の完了</li> <li>【岩洞第二】濁川サイフォン内外面点検の完了</li> <li>土木担当職員の技術向上を目的とした研修会の開催</li> <li>長寿命化検討会議の実施による、新たな技術的課題の抽出及び情報共有</li> </ul>	2	土木
	ウ-1 耐震化計画の推進（発電所建屋等の耐震化工事）	<ul style="list-style-type: none"> <li>【仙人】耐震化工事の完成</li> </ul>	3	土木
	ウ-2 耐震化計画の推進（電力土木施設の耐震診断）	<ul style="list-style-type: none"> <li>2施設（岩洞第二水圧鉄管、水路橋）の耐震診断の完了</li> </ul> <p>※中期経営計画（第1期）において、令和4年度の取組は3施設となっているが、令和4年度に予定していた四十四田発電所取水塔については、国土交通省が進めている四十四田ダム再生事業と関連することから、今年度の実施を見送ることとしたもの。</p>	4	土木
	② 適切な保守管理の実施			
	ア 適切な保守作業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気主任技術者による保安指導の実施（保安パトロール等）</li> <li>【高森高原】【稲庭高原】環境モニタリング事後調査業務委託の完了</li> <li>令和4年度実施予定の工事等に係る河川法許可の取得</li> <li>定期点検等における関係者との事前協議の徹底（作業・工事内容に関する事前打合せ・連絡の実施）</li> <li>各発電所の特性に関する重要引継事項についての課内研修の実施(年度当初)</li> <li>保安規程等に基づく計画的な保守作業の実施（点検手入れ計画表の点検項目を全て実施）</li> </ul>	5	電気
	イ 風水害への備え	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然災害の危険箇所追加調査の実施（全施設）</li> <li>【北ノ又】発電所構内排水施設等改良工事の完成</li> <li>【北ノ又第二】地すべり対策復旧工事の完成</li> </ul>	6	土木
	ウ マニュアル等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設更新等に伴う保守要則の改定</li> </ul>	7	電気
	③ 新技術の活用			
	ア-1 新技術の導入(IoT)	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡回支援や遠方監視制御装置との連携など、データを効率的に収集するシステムの構築に向けた検討（タブレット点検表の試験導入）</li> </ul>	8-1	電気
	ア-2 新技術の導入(ドローン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>垂直ドローン、水面ドローン調査の試行</li> </ul>	8-2	土木
	イ 発電所遠方監視制御装置のIP化			
	④ 農業用水の安定供給、共同事業者との連携			
	ア 農業用水の安定供給に向けた機能維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩洞ダム共有施設の改良工事（国営岩手山麓農業水利事業）の推進、事業費の適切な管理(年度協定に基づく負担金の支払い完了)</li> <li>農業用水の安定供給（営農に支障をきたす長期供給支障が無いこと）</li> <li>若柳堰堤ゲート自動制御装置更新工事の完成</li> </ul>	10	土木
	イ 河川管理者等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>北上川上流ダム再生事業に伴う発電所への影響確認（北上川ダム統合管理事務所との協議実施）</li> </ul>	11	土木
	ウ 発電所共同運転事業者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>和賀川河川環境保全事業の実施</li> <li>電源開発(株)との共有施設の点検及び工事に関する調整（今年度実施事項の確認、次年度業務実施計画の決定）</li> <li>東北自然エネルギー(株)との共有施設の点検及び工事に関する調整（共同運転会議による実施事項の確認）</li> </ul>	12	電気

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	R4本庁とりまとめ
(2) 再生可能エネルギーの維持拡大				
① 新規開発の推進				
	ア 築川発電所の建設			
	イ-1 新規開発に向けた調査等 (水力発電)	・新規開発地点の現地状況の確認 ・新規開発候補地点の選定	14-1	土木
	イ-2 新規開発に向けた調査等 (水力発電以外)	・洋上風力発電などに関する検討会議への参加及び取組の方向性や今後の動向に関する情報収集の実施	14-2	企画
② 再開発の推進				
	ア 胆沢第二発電所	・代替放流設備設置（土木）工事（R3～R5）の現地工事着手 ・代替放流設備設置（電気機械）工事（R4～R5）の契約締結、現地工事着手 ・水車発電機等更新工事の進捗管理（図面等承諾） ・水車発電機基礎構築設計業務の完了	15	土木
	イ 入畑発電所	・水車発電機等更新工事の進捗管理（図面等承諾） ・水車発電機基礎構築設計業務の完了	16	電気
	ウ 稲庭高原風力発電所	・FIT売電契約の締結 ・新風車に係る機器据付、試験調整の完了、営業運転の開始 ・使用前安全管理審査ほか保安関係手続の完了	17	電気
	エ 再開発の検討	・既設発電所の土木設備改修検討業務の完了	18	電気
(3) 経営環境の変化に対応した安定経営				
① 適正な収入の確保				
	ア 適正な売電価格の確保	・非FIT水力発電所の令和6年度以降の売電契約に向けた調査・検討 ・令和8年度容量確保契約の締結	19	電気
	イ-1 供給電力量の向上に向けた取組（点検周期等見直し）			
	イ-2 供給電力量の向上に向けた取組（高効率機器の導入）	・【仙人】1号ランナ新製工事(R3～R5)の進捗管理（図面承諾） ・【仙人】2号ランナ新製工事(R2～R4)の完成・納品	21	電気
	ウ 地域新電力との協働・連携	・現売電契約による協働・連携の実施 (経営状況、県内供給状況、プロポーザル提案事項の確認)	22	電気
② 経営の効率化				
	ア 業務の効率化	・新たな技術的課題の抽出及び情報共有に向けた技術担当課長会議（4回）及び保守担当者会議（2回）等の実施 ・年間作業停止計画の策定（関係機関との調整による発電所の効率的な運用）	23	電気
	イ 経費の平準化	・長期的な収支を考慮した10か年計画の改定	24	電気
③ 電力の新たな付加価値の検討				
	ア 電力の新たな付加価値に関する情報収集等	・情報収集、調査等の実施・共有 (他県等の状況把握など)	25	企画

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	R4本庁とりまとめ
2	工業用水道事業			
	(1) 良質な工業用水の安定供給			
	① 施設の強靱化及び大規模災害への備え			
	ア 第三浄水場加圧脱有機更新			
	イ 第二浄水場配水管布設工事	・配水管更新（1-3工区）工事の完成	27	事業
	ウ 第二浄水場天日乾燥床増設工事	・天日乾燥床増設工事の完成	28	事業
	エ 金ヶ崎ろ過施設（第二期） 高圧受電設備更新等工事	・高圧受電設備更新等工事の完成	29	事業
	オ その他修繕・改良工事等	・第一浄水場配水管（1-7工区）布設工事の完成 ・第三浄水場ほか配水管（1-7工区）布設工事の完成 ・北上ろ過施設導水管本復旧工事の完成	30	事業
	② 適切な保守管理の実施			
	ア 適切な保守作業の実施	・工業用水道施設維持管理要領の改定 ・工業用水道施設維持管理要領に基づく各施設の計画的な点検及び作業等の実施（点検項目を全て実施）	31	事業
	イ 適切な水質管理の実施	・工業用水道施設維持管理要領に基づく各施設の計画的な水質計器等の保守管理の実施（点検項目を全て実施） ・水質異常に対する訓練等の実施 ・油流出事故防止活動の実施	32	事業
	ウ トラブル発生時の対応	・トラブル対応訓練の実施	33	事業
	③ 新技術の活用			
	ア 新技術導入の検討	・先進事例等の情報収集・共有	34	事業
	(2) 新たな水需要への対応			
	水需要に応じた施設の整備			
	施設・設備の整備	・新北上浄水場建設工事の完成 ・取水口建設工事の完成 ・配水管布設工事の完成	35	事業
	(3) 安定的な事業運営			
	① 経営の効率化			
	ア 業務の効率化	・複数施設の委託業務の合冊発注等による業務の効率化の実施	36	事業
	イ 経費の平準化	・長期的な収支を考慮した年度別事業実施計画の改定	37	事業
	ウ 効率的な経営のあり方についての検討	・金ヶ崎ろ過施設のダウンサイジングに向けた配水池改良基本・詳細設計業務委託の完了	38	事業
	② 適切な収入の確保			
	ア 契約水量の維持・増量に向けた取組	・ユーザー企業への訪問 ・新規契約・増量企業等の給水手続きの迅速な対応	39	事業
	イ 改良費に対する補助金や公営企業債の要望	・国庫補助金や公営企業債枠の拡大を国へ要望 ・企業債の借入等	40	事業

分類	取組内容	今年度の取組目標・成果	取組番号	R4本庁とりまとめ
3	組織力向上と地域貢献			
	(1) 組織力向上			
	① 人材の確保・育成			
	ア 職員採用・人事交流と組織体制の整備	・インターンシップや業務説明等の実施、知事部局等との人事交流により必要な人材を確保 ・令和5年度の業務運営に最適な組織体制を確保	41	管理
	イ 有資格者の計画的な確保・育成	・資格取得の支援・奨励により資格取得者の確保・養成 ・知事部局等との人事交流を継続し人材を確保	42	管理
	ウ 人材育成・技術継承	・専門研修実施計画に基づく職場研修や局全体対象の現場研修及び関係部局と連携した研修の実施、職場外研修の受講	43	管理
	エ 経営力の強化	・経営に関する研修、マネジメント支援プログラムの実施	44	管理
	② 危機管理対策、リスクマネジメントの取組			
	ア 災害への対応体制の確立	・災害応急対応訓練の実施	45	管理
	イ リスクマネジメント	・重要なリスクや対応状況などの管理台帳の更新、局内で情報共有	46	企画
	③ 職場環境の充実			
	ア ワークライフバランスの確保	・ワークライフバランスの実践など働き方改革の推進に向けた取組の実施（業務改善、タイムマネジメント、自己研鑽意欲の向上、フレックスタイム制度導入や在宅勤務の活用促進等） ・局長等と職員との意見交換会の実施 ・職員の不安や悩みの軽減に資するメンタルヘルス・健康推進事業等の実施	47	管理
	イ 職場の働きやすさ向上	・企業局働き方改革ロードマップに基づく各取組の実施（ペーパーレス会議の拡大、電子決裁・文書管理システムの運用開始、業務の省力化、柔軟な働き方が出来る執務環境の整備等） ・【早池峰】発電所等への女性用トイレの整備 ※中期経営計画（第1期）において、令和4年度の取組は2施設となっているが、令和4年度に予定していた仙人発電所の屋外トイレについては、共同事業者（東北自然エネルギー（株））との協議により、撤去することとしたもの。	48	管理
	ウ 安全衛生対策の充実	・安全パトロール、労働災害無事故表彰の実施 ・職員安全衛生委員会の開催 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の実施	49	管理
	④ 企業局事業の理解促進			
	ア 広報活動（PRグッズ配布、『みずりん・みどりん』によるPR）	・『みずりん・みどりんお知らせ隊』によるイベントへの参加及びPRグッズの作成・配布などを通じた積極的な情報発信の実施	50	企画
	イ 企業局施設での見学者の受入れ、施設見学会の開催	・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を考慮した施設見学会及び随時の見学者受け入れの実施可否の判断、適切な対策の実施	51	企画
	(2) 地域貢献			
	① 電力供給を通じた地域貢献			
	ア 小売電気事業者と連携した取組	・いわて復興パワー（電気料金割引）の対象拡大 ・小売電気事業者及び関係部局と連携したPRの実施 ・小売電気事業者と連携したCO <sub>2</sub> フリーの電力の県内企業等への供給	52	企画
	イ 一般会計への繰出し	・一般会計への繰出しによる震災復興及びふるさと振興関連施策の財政的支援の実施	53	企画
	② 地球温暖化防止に向けた取組			
	ア クリーンエネルギー導入促進事業（市町村向け補助事業）	・県内のクリーンエネルギーの導入促進及び普及啓発に向けた市町村等に対する補助金の交付	54	企画
	イ 環境保全・クリーンエネルギー導入促進事業向けの一般会計への繰出し	・県内の環境保全やクリーンエネルギーの導入促進に向けた一般会計への繰出しによる財政的支援の実施	55	企画
	ウ 市町村等が行う植樹活動への支援	・水源涵養の促進及び環境保全活動を実施する市町村等に対する苗木の提供や職員参加による支援の実施 ・令和5年度全国植樹祭に向けた関係部局との調整	56	企画
	③ 水素利活用推進プロジェクト			
	ア 水素利活用への取組	・県の水素利活用に関する検討会議への参加及び取組の方向性や今後の動向に関する情報収集の実施	57	企画